

平成22年第8回小金井市教育委員会定例会議事日程

平成22年8月10日(火)

午後1時28分開会

開催日時	平成22年8月10日	開会 午後1時28分 閉会 午後4時45分	
場 所	小金井市役所第二庁舎 801会議室		
出席委員	委員長 伊藤 恒子 委員長職務 代理者 鮎川志津子 委員 高木 裕	委員 宮本 誠 教育長 向井 一身	
欠席委員			
説明のため出席した者の職氏名	学校教育部長 小林 美都江 生涯学習部長 渡辺 博 庶務課長 鈴木 遵矢 学務課長 前島 賢 指導室長 豊岡 弘敏 指導室長補佐 神田 恭司 指導主事 浜田 真二 指導主事 高橋 良友	生涯学習課長 尾崎 充男 兼生涯学習係長事務取扱 スポーツ振興 宮腰 誠 担当課長 図書館長 田中 肇 公民館長 大関 勝広 庶務課長補佐 高橋 正恵 兼庶務係長 教科書選定調査 木村 洋子 委員長 教科書選定調査 田尻 洋二 副委員長	
調 製	玉井 奈保子		
傍聴者人数	18名		

日程	議 題	
第 1		会議録署名委員の指名
第 2	議案第 1 6 号	小金井市私立幼稚園等園児保護者補助金の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定依頼について
第 3	議案第 1 7 号	平成 2 3 年度小金井市立小学校使用教科用図書の採択について
第 4	議案第 1 8 号	平成 2 3 年度小金井市立小・中学校特別支援学級使用教科用図書の採択について
第 5	報 告 事 項	1 今後の日程 2 その他
第 6	代 処 第 2 2 号	非常勤嘱託職員の採用に関する代理処理について
第 7	代 処 第 2 3 号	職員の人事異動に関する代理処理について

伊藤委員長 皆様、こんにちは。  
ただいまから平成22年第8回小金井市教育委員会定例会を開会する。  
日程第1、会議録署名委員の指名。本日の会議録署名委員は、宮本委員と鮎川委員に願います。

(委員一同異議なく、上記2名が選出された。)

伊藤委員長 次に、日程第2、議案第16号、小金井市私立幼稚園等園児保護者補助金の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定依頼についてを議題とする。  
提案理由をご説明いただく。

向井教育長 提案理由についてご説明する。  
補助対象者の拡大に伴い、規定を整備する必要があるため、本案を提出するものである。  
細部については担当から説明するので、よろしくご審議いただき、ご議決賜るよう、お願いを申し上げます。

前島学務課長 ご説明する。  
都の保護者補助金の要領に基づき、補助対象者を拡大する必要が生じ、今回、条例の一部改正をする必要が生じたものである。  
改正内容については、新たに私立特別支援学校の幼稚部に通っている幼児を補助対象にするものである。  
実際、平成21年度までは該当者がいなかった。条例については、そのため改正はしていなかったが、今年度、該当者がいるため、都の保護者補助金の要領に合わせるために、本条例の補助対象者を拡大とする形で改正したいと考えている。  
資料の新旧対照表をごらんいただく。第2条第1号に、「特別支援学校の幼稚部」を加えて、拡大するという形をとらせていただきたいと思う。該当者は今のところ1名である。支出の予定も3万8,400円という形で、予算の範囲内で執行できるものと見込んでいる。

雑駁であるが、説明を終わらせていただく。

伊藤委員長

ありがとう。

事務局の説明が終わったが、ご質問、ご意見はあるか。  
ないか。それではお諮りする。

議案第16号、小金井市私立幼稚園等園児保護者補助金の交付に関する条例の一部を改正する条例について、原案どおり可決することにご異議はないか。

(委員一同異議なしの声)

伊藤委員長

異議なしと認める。本案は原案どおり可決することと決定した。

次に、日程第3、議案第17号、平成23年度小金井市立小学校使用教科用図書採択についてを議題とする。

提案理由をご説明願う。

向井教育長

提案理由についてご説明する。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条第6号の規定に基づき、平成23年度市立小学校使用教科用図書の採択をする必要があるため、本案を提出するものである。

細部については指導室長より説明するので、よろしくご審議いただき、採択賜るようお願い申し上げます。

豊岡指導室長

平成23年度市立小学校使用教科用図書の採択についてであるが、小金井市立学校使用教科用図書採択のための調査研究に関する要綱及び同細目に基づいて、これまで調査研究を進めてまいった。各学校における調査研究、各学校長から推薦された委員で構成された調査研究委員会における調査研究が行われたところである。さらに、それらをもとに選定調査委員会の正副委員長、調査研究委員会の正副委員長、保護者の代表、教育委員会の事務局等で構成された選定調査委員会で調査研究を行った。

その結果をまとめたものが配付した選定調査資料である。選定調査資料は各教科の教科書会社ごとに作成している。

これまでの取り組みについて報告をさせていただいた。よろしくお願ひする。

伊藤委員長

ありがとう。

それでは、選定調査委員長及び副委員長に私どもが質問させていただき、お答えをいただいて、理解を深めてまいりたいと思う。

なお、私どもは、先ほどお話しいただいた選定調査資料は、事前にいただいて読ませていただいているので、教科書各社ごとの説明は1つ1つでなく、特徴的なことを挙げていただければいいのではないかと考えるが、いかがか。

(委員一同異議なしの声)

伊藤委員長

いいか。では、そのような形で、教科書も、先生方ほど十分ではないが、見させていただいているので、よろしく願い申し上げます。

ご異議がないようなので、そのように進めさせていただく。

まず、国語の説明から願います。

木村教科書選  
定調査委員長

教科書選定調査の結果の報告をする。

まず、国語であるが、東京書籍については、各領域の説明が充実しているということ、例えば原稿用紙の使い方などがわかりやすく説明されていた。また、辞典、広告、新聞、百人一首などの実物の写真が掲載されていて、大変見やすく表現されていた。

学校図書については、挿絵、写真がわかりやすく、行間も広く、字が読みやすいという表記上の特徴があった。また、「保護者の方へ」で、学習内容のねらいが示されていて、学校と家庭をつなぐ視点があることが、資料上、大変特徴があるということが報告されている。

三省堂は、話すこと、聞くことの領域が系統的で、内容が充実しているということ、また、別冊の『学びを広げる』は、年間を通して資料として活用できるのではないかという報告があった。

教育出版は、生活科、総合的な学習、日常生活につながる教材が豊富であるということだ。また、こちらも付録の「言葉のとびら」が充実しているという報告があった。

光村図書は、文学教材が豊富で、季節感のある配列になっていた。また、説明文については2教材構成になっていて、段階を追った指導ができるようになっている。こちらで言うと、例えば6年生でい

くと、最初に感情というような題目で、説明文についての簡単な流れがあって、本格的に、今度はこちらの読み物を読んでいくというような2教材構成になっているというのが特徴である。

このような報告があった。以上である。

伊藤委員長

ありがとう。

ご質問のある方、お願い申し上げます。

鮎川委員長  
職務代理者

私たちも教科用図書を事前に拝見させていただき、選定調査資料も拝見した。また、今回、学習指導要領が新しくなるということで、学習指導要領も勉強をさせていただいた。

そこで、新しい学習指導要領においては、国語科の目標については特に大きな変更がなかったと思う。新学習指導要領での国語の重点は何か。

木村教科書選  
定調査委員長

今までどおり、話すこと、聞くこと、書くこと、読むことの3領域の指導は、それは根幹であると思う。ただ、それに加えて言語活動の充実、伝統的な言語文化に関する指導の重視、読書活動の充実が今回の改訂のポイントと言えると思う。

鮎川委員長  
職務代理者

ありがとう。

伊藤委員長

ほかにあるか。

高木委員

先ほど各社の特徴をお話があったけれども、特に強調したような部分がもしあったら教えていただきたい。

木村教科書選  
定調査委員長

今回の改訂のポイントになっている言語活動については、言語活動の単元を多く扱っているのは三省堂さんと東京書籍だったかなと思っています。

読むことの作品が多かったのは光村図書だというような特色があると思う。

伊藤委員長

ほかにご質問はあるか。

宮本委員 教科書を拝見させていただいたけれども、伝統的な言語文化に関する指導というのは、どのようなものが行われるのか。

木村教科書選  
定調査委員長 各社ともほんとうにいろいろと工夫されていると思うけれども、古文、漢文だけでなく昔話や神話、伝承、短歌や俳句、慣用句や故事成語等もとてもたくさん扱われており、ほんとうにすべての教科書が取り上げられていると思う。

光村図書が最も多く掲載しているように調査の結果からは見られたように思う。また、光村図書は、音読を中心にした日本語のリズムを大切にしたい感じをしているような感じがもたれた。例えば6年生で言うと、150ページの「天地の文」という古い文章だが、こういう形の擬人的なものを描いているし、こちらの5年生でも、「竹取物語」についても、リズムを大切にしながら読んでいくような扱いが特徴的なものだったと思う。

以上である。

伊藤委員長 ほかにあるか。

鮎川委員長  
職務代理者 読書活動については、各学校での指導も大変充実していると思うし、保護者の方とか地域の団体の方々の読み聞かせの活動なども大変活発であると伺っている。

小金井の子どもたちは、そのような指導の中で、大変読書が好きだということも聞いている。各学校でいろいろな指導、そして図書館などでもいろいろな読み聞かせの活動、ほんとうにそちらは小金井らしさであるかなと私は思っている。

そこで、このような視点で教科書を見ると、各会社については何か、読書活動について特徴などはあるか。

木村教科書選  
定調査委員長 読書活動については、ほんとうにどの教科書もたくさん本を紹介してくださっているように思う。紹介の仕方はそれぞれの教科書で違うと思うけれども、読書の指導については国語の授業でも扱うので、そのことはとてもこちらに関心が高かったように思う。

特に光村図書については、単元に応じて本の紹介、全体的な量の多さは、また別の会社でもあるが、単元に応じた本の紹介をしてい

るのは工夫があったと思う。例えば単元の終わった後に、そちらに必ずそういう紹介を最後にしていて、まとまった本の紹介以外にも単元にかかわったような紹介があった。それが特徴だと思う。

文学的な文章や説明的な文章がそういう形で紹介されたのは、三省堂も多かったと思うけれども、特に光村は、単元に応じた本の紹介をしてあった。

鮎川委員長  
職務代理者

わかった。ありがとう。

伊藤委員長

ほかにあるか。質問はよろしいか。

それでは、質問がないので協議に入りたいと思う。ご意見をお願い申し上げます。

宮本委員

今のご説明の中にも出てきたけれども、光村図書というのは各学年の教科書に名前がついている。例えば6年生は「創造」ということであるし、5年生は「銀河」、4年生は「はばたき」というぐあいの名前だけれども、こういう名前は非常にイメージが膨らんで、児童の興味を引き出す点では大変いいのではないかと感じた。

伊藤委員長

指導室からいただいた教科書に関する市民の方のご意見にも、そのようなことが書かれていた。「銀河」というのを挙げて、そのような教科書で私も勉強したいと思ったというようなことが市民の声にもあった。つけ加えておく。

ほかはないか。

鮎川委員長  
職務代理者

先ほどご説明いただいた読書活動については、三省堂や光村図書が、いろいろな文学作品などがあるというお話があった。新学習指導要領の国語の重点ということで、読書活動の充実も改訂のポイントとして挙げられているかと思う。

そのようなことから考えると、やはり光村図書は文学教材が大変充実していて、読書活動が大変活発な小金井の子どもたちは特に文学作品に対しての関心が高いと思うので、光村図書が小金井の子どもたちの実態に合っていると思う。

伊藤委員長 読書についてということか。

鮎川委員長  
職務代理者 はい。

伊藤委員長 ほかにあるか。

高木委員 先ほど、言語活動については三省堂と学校図書というお話であったけれども、特に書くことに関する単元ということでは、その2社が取り上げている分量が多いようである。これは東京都教育委員会の調査の資料である。

伊藤委員長 調査資料からそういうことが言えるということか。  
ほかにあるか。

宮本委員 いただいた資料を見てみてもそうであるが、調べたものをまとめるというような項目を見ると、光村図書が多い。調べて、それをまとめて意見をあらわすというようなことは大変大切な点ではないかと思うので、光村図書がいいのではないかと感じた。

伊藤委員長 書くことの量としては三省堂や学図が多いということ、調べたことについてはということであるか。

宮本委員 はい。

伊藤委員長 ほかにご意見はあるか。

高木委員 先ほどの東京都教育委員会の資料を見ると、伝統的な言語文化に関する作品数というところでは、光村図書さんが、ほかの会社の倍か、それ以上の作品を取り上げているということかと思う。  
私も光村でいいのではないかなと思う。

伊藤委員長 その他ご意見はないか。  
よろしいか。  
それでは、光村図書がよいというご意見が出されているが、国語

の教科書は光村図書でよろしいか。

(委員一同異議なしの声)

伊藤委員長           それでは、国語の教科書は光村図書と決定する。  
次に、書写の説明をお願いします。

木村教科書選           書写をご説明する。  
定調査委員長       まず、東京書籍では、見開きで見ることができるのでとても使い  
やすいのではないかという、構成上の特徴が挙げられている。また、  
低学年の自己評価シールなど、学習の振り返りや自己評価欄がある  
のが使いやすいというような調査結果もある。

学校図書は、目標を持って取り組み、自己評価ができるような内  
容になっている。こちらと同じように、評価について特徴が出てい  
る。それから、赤い補助線などが示してあり、バランスをとりやす  
いように工夫されているということである。

三省堂は、学んだことを生かした日常生活での場面を取り上げて  
いる。例えば、広げようというようなことになり、このような手紙  
を書こうという形で、広げようというような項目がきちんと構成さ  
れている。巻末に、2年分の新出漢字、既習漢字が掲載されている  
のも特徴であった。

教育出版は、手本の字がとても大きくて伸びやかであるというこ  
と、それから、点線の穂先の動きがカラー印刷で見やすくなってい  
るといった特徴が見られた。

光村図書は、穂先の向きが写真で示され、視覚的にも理解できる。  
3年生では、初めに、点画シール、点画模型というのがついており、  
書写を習い始める3年生にとってはわかりやすいのではないかと  
いうこと、それから、こちらの巻末に、筆順、毛筆文字、硬筆文字  
の漢字が一覧表でわかりやすいというのが特徴である。巻末にはそ  
ういうものがついていた。

最後に、日本文教出版は、漢字、平仮名、片仮名教材がバランス  
よく入っているということ、日常生活に生かせるペン書き、掲示物  
の書き方などが載っているということに特徴があるということで、  
調査結果をいただいている。

以上である。

伊藤委員長            ありがとう。  
                              それでは、質問のある方、願います。  
                              もし補足があったら、どうぞ自由におっしゃっていただきたい。

高木委員                今回の指導要領の改訂で、書写におけるポイントというのをご説明  
                              いただきたいと思う。

木村教科書選            書写については、手紙を書いたり、記録をとったりするなどの、  
定調査委員長            実際の日常生活や学習活動に役立つような内容の指導のあり方の改  
                              善を図っていこうというようなことが言われている。  
                              以上である。

伊藤委員長            それだけか。

木村教科書選            はい。  
定調査委員長

伊藤委員長            役立つということかな。

高木委員                文字を正しく整えて書くという意味で、硬筆も毛筆も、最初の指  
                              導というのが大事だと思うが、その辺は、各教科書はどんなふうに  
                              扱っているか。

木村教科書選            先ほどもちょっと説明したけれども、どの教科書もほんとうにそ  
定調査委員長            のあたりを丁寧に扱われているが、習い初めの指導はとても大切な  
                              ので、文字を書く姿勢だとか、用具の持ち方だとか使い方の指導が、  
                              各教科書、特徴を持って扱われている。  
                              全体的には、日本文教出版、それから三省堂もとても多かったな  
                              と思っている。  
                              硬筆や毛筆の入門については、光村図書が、分量を割いて丁寧に  
                              扱っているという意見が多かったように思う。3年生の最初の書写  
                              のところなどはかなり丁寧に、用具の説明もわかりやすく、ページ  
                              を割いて行っているということがわかった。  
                              でも、どの教科書も特徴を持って、丁寧に扱っている。

以上である。

伊藤委員長           ほかにはいかがか。

鮎川委員長           先ほど、各教科書ごとの特徴についてはご説明していただいたが、  
職務代理者           点や画の書き方や字配りなどについて、細かな配慮が感じられるの  
はどちらの教科書であるか。

木村教科書選       ほんとうにどちらの教科書も、それぞれ工夫された入り方をして  
定調査委員長       いると思うが、調査委員会の中では、3年生のところの点画の模型  
がついているというのがこちらだけであったので、これを切り取っ  
て確認をするという形だと思うが、こういうのが理解しやすいんじ  
ゃないかという意見が多かったように思う。

伊藤委員長           今のは光村か。

木村教科書選       光村である。  
定調査委員長

伊藤委員長           ほかにはあるか。

宮本委員           日常生活では、今、横書きのほうが多いと思うけれども、そうい  
うものには対応しているのか。

木村教科書選       これはほんとうにどちらの教科書も対応しているし、私たちが教  
定調査委員長       えたところと比べたら、ほんとうにきちんと横書きが配列されてい  
るが、光村、教育出版あたりは系統的に横書きを入れてあるという  
感じはした。

伊藤委員長           系統的にというと、どういうことか。

木村教科書選       例えば教育出版であれば、トライ・アンド・チャレンジというよ  
定調査委員長       うな形で、横書きをしようという、これは必ずついていたり、それ  
から、光村のほうも、きちんと2年生から横書きのページが入って  
いる。横書きの書き方という形で、2年生から入っている。

以上である。

伊藤委員長

ほかにご質問はないか。

よろしいか。

それでは、これから協議に入りたいと思う。ご意見をどうぞ。

高木委員

感想だけども、光村のペンギンのキャラクターが、ちょっと幼稚というか、そんな感じもするけれども、いかがか。

伊藤委員長

いかがか。かなりたくさんペンギンが出てくる。

木村教科書選  
定調査委員長

そうである。中の説明にもすごくペンギンが出てきている。

伊藤委員長

私も最初、そのペンギンが気になって、なぜ教科書にキャラクターがという思いをととても強く持っていたが、結構そのペンギンが大事なことを語っている。何か考えさせたりするということでは、子どもにとっては、ペンギンのところを見ると指導のポイントが説明されているのかなとも感じた。

ただ、かなり色使いが、黒と白の芸術の書写の教科書にしてはカラフルだなという印象は、ほかの教科書に比べて持たせていただいたというところはある。よいことなのか、悪いことなのか、わからないが、子どもたちにとっては親しみやすいのかなと思う。ただ、ちょっと煩雑かなというような思いも、大人として思ったけれども、ほかにご意見はいかがか。

鮎川委員長  
職務代理者

今、ペンギンのキャラクターについてのいろいろなご意見が出ているが、私が幼稚なのかもしれないが、特にキャラクターを見て幼稚とは感じなかった。むしろキャラクターを使うことで、今、委員長先生もおっしゃったように、親しみやすく、また、子どもたちにとって課題発見を促す助けになっていると思ったので、むしろキャラクターはよいと感じている。

伊藤委員長

すべてこのごろキャラクターの世の中とも言える。

高木委員           そうである。大体、教科書はみんなある。

伊藤委員長       ほかに意見等ないか。

宮本委員           今、ご質問のご返事の中にも光村図書の話が幾つか出てきたと思うけれども、国語の教科書が光村ということになると、教科書との関連性というようなことを考えると、光村図書の書写の中に、4年生、5年生で同じような話題のところを取り入れられているというような点で、一緒に勉強できるというようなことがあるんじゃないかと思うので、そういう点から、光村図書がいいんじゃないかなと思った。

伊藤委員長       筆を使う最初の人に、筆になれる意味で、でたらめ書きというのか、いろいろさせているが、それぞれの教科書がいろいろなでたらめ書きをさせているけれども、私は、東書のでたらめ書きがかなり動物を書いたりして、子どもにとって親しみがあるものなのかなという思いを持たせていただいたが、筆になれるということが3年生のときには大事なのかなというような思いも持たせていただいた。

ほかにあるか。

鮎川委員長  
職務代理者       まず各教科書を拝見したときに気づいた点を2点ほど、意見として申し上げたいと思う。

まず1つは、後片づけや道具の扱い方について、光村図書がとても丁寧に取り上げていると感じた。技術だけでなく、道具を大切にするという心も育てていきたいと思っている。

2点目だが、毛筆の用具の準備のところで、各学年、光村図書だけが筆の横に鉛筆が置かれていた。書道、毛筆なので、筆の横に鉛筆があるというのが、私は最初、大変違和感を感じた。

ただ、その後よくよく拝見し、ほかの教科書との比較をしてみたところ、どの教科書でも、毛筆、書写の時間でありながら鉛筆を使っの学習、また、各单元ごとに振り返りや自己評価などで鉛筆を使うようなことが書写の授業中にもあるようだ。

そこを考えると、光村図書のように筆の横に鉛筆を置いておくと、小学生にとっては、さっと必要なときに鉛筆が使えるということに

なると思うので、そのような細かな配慮があつてすばらしいなと感じた。

伊藤委員長 皆さん、確認していただいてよろしいか。

鮎川委員長  
職務代理者 皆さん、このところで鉛筆が置いてある。いかがお考えか。

高木委員 確かにそのとおりである。

伊藤委員長 わかった。  
ほかにご意見はあるか。いいか。  
それでは、皆さんのお話から、光村図書がよいというご意見が多いように思うが、書写の教科書は光村図書でよろしいか。

(委員一同異議なしの声)

伊藤委員長 それでは、書写の教科書は光村図書と決定する。  
次に進む。社会の説明をお願いする。

田尻教科書  
選定調査  
副委員長 それでは、社会について説明させていただく。  
まず、東京書籍であるが、各学年初めの単元に見開きで、つかむ、調べる、まとめるといった学習の進め方が掲載されていて、児童が見通しを持って学習することができる。また、「ことば」の欄を設定して、学習の基礎・基本となるキーワードを、「ことば」として、枠組みで、表現がやわらかく、わかりやすく解説している。

教育出版についてであるが、3・4年生の単元の配列が、副読本『わたしたちの小金井』とほぼ同じで、使いやすいことが特徴である。これが21年、22年度版の『わたしたちの小金井』であるが、今、改訂をしているが、この目次の第1単元から第5単元とほぼ同じ配列で並んでいる。それから、挿絵や写真などが大変多く、ダイナミックかつ丁寧に描かれていて、多様な発見を引き出し、イメージ豊かに学習が展開できる。例えば、昔の道具とくらしの単元だが、このように2ページにわたって、挿絵がほんとうに細かく描かれていて、子どもがイメージを膨らませて学習に取り組むことがで

きる。

光村図書についてであるが、単元の終わりに、「ひろげる ふかめる」のコーナーが設定されている。児童の学習意欲をさらに高める工夫がされていると思う。例えば、食糧自給率を向上させる具体的なアイデアとして、おいしい米粉ラーメンをつくっての食糧自給率アップ大作戦というものを掲載してある。それから、単元の導入のページに、見開きの大きな写真や図が掲載してあって、児童の学習に対する興味・関心を高める工夫が見られる。

日本文教出版は、2種類の教科書が出版されている。まず、大判のほうである。単元の終わりの「たしかめよう」のコーナーには、学習のまとめ方が多く記載されている。学んだことを、ガイドマップとかポスター等の表現物にまとめて、それをもとに話し合うことで、見方とか考え方を確かなものにしていけるようになっている。また、各学年の初めには教科書の仕組みが示されていて、学習の進め方がわかりやすく工夫されている。いわゆる問題解決学習とか児童の主体的な学びを促していると思われる。

日本文教出版の小さいほう、小判のほうだが、学習問題、それから問題解決への調べを進める上のねらい、学習の手助けとしての学び方教室、それから、まとめの言葉、さらに広げよう、深めようという学習過程になっていて、児童の思考の流れに沿って教科書が構成されていると言える。また、学習のまとめとしては、例えば地図とか新聞づくり、紙芝居とか作文など、児童の作品の掲載が多い。同世代の児童にとっては参考になる資料である。

以上である。

伊藤委員長

ありがとう。

ご質問はあるか。

高木委員

新しい学習指導要領についての重点項目というか、これを教科書はどのように扱っているか。

田尻教科書  
選定調査  
副委員長

新しい学習指導要領の重点としては、学んだ知識、それから技能を活用する力の育成と、先ほども出てきたが、言語活動の充実である。教科書では、それに沿って、児童がテーマについて話し合う活動とか、表とか写真をもとにして考える活動、さらには、課題につ

いて調べて、さらに探求していく活動等が扱われている。どの教科書もそうである。

特に教育出版については、先ほども言ったが、資料の数が多くて、考えさせる授業が展開しやすいといったご意見があった。

伊藤委員長           ほかにあるか。

宮本委員           47都道府県の名称と位置というようなことも指導内容に入ったようだけれども、ほかにはどのようなものが新たに加わったのか。

田尻教科書  
選定調査  
副委員長           3・4年生で言うと、身近な地域として、古くから残る建造物、例えば東書で言うと、残したいもの、伝えたいものの中に、古くから残る建物、それから、この教科書では、道後温泉本館について、いろいろ昔のつくりについて調べるようになっている。

それから、方位、主な地図記号、あと5年の国土で言うと、地球儀の活用、さらには世界の主な大陸とか、海とか、あるいは国の名称と位置といったものが新しく加わった。

宮本委員           ありがとう。

伊藤委員長           ほかにないか。

高木委員           キャラクターにこだわってすまない。どの教科書も子どもたちがいて、そこに、たしかオオサンショウウオとか、アトムとか、猫とか、そういうキャラクターが登場してくるけれども、先ほどもお話があったけれども、先生方、やっぱりそのキャラクターというのは、意味があるというか、効果があるとお考えか。

田尻教科書  
選定調査  
副委員長           例えば、東京書籍はドラえもんである。ドラえもん、のび太、しずかちゃんが出てくる。それから、日本文教出版はアトムとウランちゃん。ほかの出版会社は、男の子と女の子が、それぞれ名前は違うが、2人ずつ出てくる、4人で。学習の道案内をしてくれるという役割があって、学習者の目線で、共感的に学びを進めていくところから、児童の興味・関心を高める上で有効であるという意見があった。

また、学習課題を一緒に探求していくといったことで、子どもたちの学習意欲が高まるという効果も期待できると思う。

高木委員 わかった。

伊藤委員長 なかなか、役目もあるということで。

高木委員 私も基本的には同意するけれども。

伊藤委員長 ほかにご質問はないか。  
よいか。

鮎川委員長 社会は特にない。  
職務代理者

伊藤委員長 では、これより協議に入る。ご意見を願います。

鮎川委員長 意見のほうで1つ。  
職務代理者 いろいろ拝見させていただいた中で、教育出版は、社会の発展に大きな働きをした先人をたくさん取り上げているように思う。数だけではないが、たくさんの人を取り上げているという点で、よいなと思った。

伊藤委員長 より興味がわくということか。

鮎川委員長 そうである。92人ということで、かなり多いなと思っている。  
職務代理者

伊藤委員長 ほかにご意見はないか。

宮本委員 都道府県の位置とか名称を取り上げているのは、光村図書とか教育出版が多かったと思うけれども、また、教育出版は、節水とか節電などの資源の有効性について多く取り上げていると思う。

また、日本文教出版の小学生の社会の、住みよい社会の中に地図帳の使い方というのがあるけれども、ここに、小金井桜というのが

写真入りで載っている。教科書に載っているというのは大変魅力的だと、子どもにとってはそう思うと思うけれども、教育出版では、今度は、水はどこからというところで相模湖を取り上げているということもあるので、そういうことを全般的に考えると、教育出版のほうがいいかなという感じを持った。

伊藤委員長 自分のところが教科書に出ているというのは大変魅力的だと思う。ほかにないか。

高木委員 先ほどご説明があったように、教育出版が、資料が豊富にあって、授業も進めやすいというようなことであるので、私も教育出版がいいのではないかなと思う。

伊藤委員長 ほかにないか。  
もういいか。  
それでは、教育出版がよいというご意見が多いように見受けた。社会科は教育出版でよろしいか。

(委員一同異議なしの声)

伊藤委員長 それでは、社会科の教科書は教育出版に決定する。  
それでは、地図帳に行きたいと思うが、地図帳のご説明をお願いします。

田尻教科書  
選定調査  
副委員長 地図について説明をさせていただく。2社ある。  
東京書籍についてだが、都道府県の拡大図の中に鳥瞰図が多く掲載されていて、児童が立体感を持ってイメージしやすくなっている。こういった形で、それぞれ鳥瞰図が掲載されている。京都だとかこういった形である。ほんとうに立体感を持ってイメージしやすいということである。それから、地図のわきに、県ごとのお国自慢とか、地図の中に各所の名所とか文化財のイラストが紹介されていて、都道府県に対しての興味・関心を高めて、また、さまざまな学年でも活用ができる。

帝国書院は、まず一番特徴的なのが、東京都の地図が大きく、また詳しくあらわされている。鳥瞰図や土地利用が、同じ縮尺でも、

江戸との比較の地図、児童にとっては、東京の理解を深めるのに役立つと考える。3ページである。あとは、前のところにも大きな地図、ここに同じ縮尺での今の東京と江戸時代の江戸の町の様子が、これからも比較がしやすいというふうになっている。また、地図が大きく、写真や資料等も豊富で、ほんとうに児童の興味・関心を引きやすい。出しやすくなっている。明るい色調で、色彩が鮮やかで見やすい。そういったふうに意見の中では出てきていた。

以上である。

伊藤委員長            ありがとう。  
                              ご質問をお願いします。

高木委員                地図帳の役割というか、使い方ということで、場所を確認するということは当然だが、どんな使い方がほかにあるのか。

田尻教科書  
選定調査  
副委員長                社会事象を、よく言われるが、様子とか、あとは自然環境とのかかわりなんかを調べることができる。さらには、社会科だけではなくて、ほかの教科書、ほかの教科、そして家庭などでも活用することができるというところである。

                              そのために、やはり地図を活用する力を身につけることがほんとうに重要だなと思われる。

伊藤委員長            ほかにあるか。

宮本委員                今お話しになったような地図の使い方というのは、地図帳にも説明があるのか。

田尻教科書  
選定調査  
副委員長                どちらも巻頭言の中に示されているが、特に帝国書院では、児童が地図の有用性を理解して、地図を有効に活用するということと、将来にわたって地図活用の機能を生かせるようにということで、地図の約束事を、5ページから8ページにわたって大変詳しく書かれている。

伊藤委員長            こちらのもう一つのほうはいかがか。

田尻教科書  
選定調査  
副委員長

もう一つも、やはり巻頭言で、ここから、地図のなぞ解きというテーマで、6ページにわたって書かれている。

伊藤委員長

ほかにあるか。

鮎川委員長  
職務代理者

地図帳は2社しかないが、先ほど、各地図帳についての特徴についてご説明していただき、特に帝国書院の東京と江戸というような特徴などについては、説明を伺って大変よく理解できたと思う。

この2社に、特徴を踏まえて違いというものがあったら、そのあたりもあわせて教えていただけるか。

田尻教科書  
選定調査  
副委員長

まず、色使いが違うかなと思われる。東京書籍はすっきりした色調になっているが、帝国書院は、先ほども説明したけれども、こういうふうに色彩が鮮やかである。こうやって見ると随分違っているのがわかるかと思うが、まず色使いが違うということが1つである。

それから、東京都の地図の大きさは、先ほど言ったように、帝国書院のほうが大きくなっている。

それから、国旗の掲載の場所もちょっと異なっていて、東京書籍は、巻末の世界地図のところに一気に全部、こうやって国旗を掲載しているが、帝国書院は、各大陸ごとに、これはヨーロッパとアメリカだけれども、前がアジアで、大陸ごとに載せてあるということも違う。

それから、先ほど言ったように、帝国書院は東京都を3ページにわたって大きく掲載しているということで、東京都のイメージが、ビルだけだというイメージを子どもは持ちやすいと思うけれども、そうではなくて、山地もあるし、島もあるしということで、さまざまな自然環境の中で東京都は成り立っているということもわかりやすく説明していると思われる。

鮎川委員長  
職務代理者

わかった。ありがとう。

伊藤委員長

ほかはないか。  
よろしいか。

それでは、協議に入る。ご意見を願います。

宮本委員 地図は2社なので、見た一番の印象としては、帝国書院が地図らしいかなという印象を持ったけれども、それから、今、先生のご説明にもあったように、巻頭のところに地図の約束事が8ページにもわたって説明されているというような点もいいんじゃないかなと思った。

伊藤委員長 帝国がいいということか。

宮本委員 はい。

伊藤委員長 ほかにないか。

高木委員 資料を見ると、帝国のほうは、世界の地名数というのが297件、索引に載っていて、これは東書の数等の倍以上の掲載数になっているようである。多ければいいというものじゃないかもしれないが、情報としては多くの情報が載っているということかなと思う。

伊藤委員長 情報量が多いということである。

鮎川委員長  
職務代理者 私も帝国書院がよいと思った。今、ほかの先生方がおっしゃったような、中身が大切なのはもちろんであるが、表紙が、帝国書院は大変丈夫につくられていると思う。ほかの教科用図書と違って、地図帳の場合は、小学校の3年生から6年生と4年間にわたって使用するものであるので、そのあたりの丈夫につくられているという気配りもよいなと思っている。

伊藤委員長 ありがとう。  
ほかにご意見はないか。

高木委員 先ほどのご説明では、帝国のは鮮やかというご説明だったけれども、大変色使いがわかりやすいというか、明瞭になっているなと思う。

それから、土地の使い方、土地利用というか、その辺のところも、

色分けした地図が多くて、見やすく字体も大きいということで、やはり帝国がいいんじゃないかなと思う。

伊藤委員長           ほかにご意見はないか。

鮎川委員長  
職務代理者           私も同感である。字体が見やすいと思った。

伊藤委員長           字体が見やすい。大事なことである。  
ほかにないか。  
それでは、帝国書院がよいというご意見が多いと思う。地図は帝国書院でよろしいか。

(委員一同異議なしの声)

伊藤委員長           それでは、地図は帝国書院に決定する。  
次に、算数のご説明をお願いします。

木村教科書選  
定調査委員長       それでは説明する。  
まず、東京書籍だけでも、学習課題がとてもはっきりと提示されていて、何について考えるのかがわかるように学習が展開されている。それから、説明の図がはっきりしていてわかりやすいというような調査結果が出ている。

大日本図書である。問題解決の授業過程に沿った構成になっている。問題を考えながら子どもたちが理解をしていくというような構成になっている。学習したことを身の回りや日常生活の中で見出したり、活用したりするコラムがあって、活用ということにポイントが置かれているだろうということである。

学校図書は、いろいろな考え方を示して、自分で学習を進めていけるように構成されている。どの単元についてもいろいろな考え方を示してあるということが調査結果にあった。また、学校図書については、6年生の下に、『中学校へのかけ橋』という冊子がついており、これが、中学校の数学との関連が図られているのではないか。算数から数学にかわるということで、その関連が図られているのではないかということであった。

教育出版は、数の概念を数直線を中心に説明している。数直線ですっと説明しているというところが統一されていて、わかりやすいということである。あと、細かなアドバイスが多くて学びの手助けとなっている。例えば、「学びの手引き」といって、勉強が終わった後に算数で使いたい言葉だけをまとめてあるとか、こういうのが各学年ごとに構成されていて使いやすいということであった。

啓林館については、児童が興味を持てるような身近な問題が取り上げられている。また、繰り返し、基本的な問題から準備、復習できるように配列されているということであった。

日本文教出版については、問題解決の演算、結果、方法などの例示が大変わかりやすく示されていて、その構成がよいという報告があった。また、文教出版だけはB5判よりも3センチ幅が広いために、余白がとても余裕があって、見やすい感じがする。全体に余白があるという感じが見やすいという調査結果が出ている。

以上である。

伊藤委員長            ありがとう。  
                                 質問をお願いします。

高木委員                算数の新しい指導要領の中での重点項目をご説明いただきたいと思う。

木村教科書選  
定調査委員長        算数については、新しい学習指導要領では、特に算数的活動の充実を図ることがポイントになっていて、思考力、表現力を育成することが大きな重点となっている。

高木委員                算数的活動というのをもう少し説明してほしい。

木村教科書選  
定調査委員長        今までもそういう活動をやっていたけれども、新しい学習指導要領では、その算数的活動に大変ポイントが置かれていて、どういふことをやったらいいのか示されている。

                                 具体物を用いて数量や図形についての意味を理解したり、知識や技能を実際の場面で活用したり、または問題解決の方法を考えたりするときの作業的な活動や体験的な活動、または表現活動などのことを算数的な活動と呼んでいる。

伊藤委員長        よろしいか。

高木委員            難しいけれども、何となく。

木村教科書選  
定調査委員長        例えば、頭の中で考えていることも、あらわしてみるとか、今までは、答えをただ書いただけの子どももいたけれども、それをどうやって考えたのかを、自分なりに頭の中で操作して書くことも算数的活動だし、または、おはじきなんかを置いて、それをさわりながら解決していくということもあるし、実際に体験して、長さをはかっていくなんていうこともあったり、そういうことをきちんと入れていきましょうということで学習は進んでいるし、教科書もそういう内容が多く取り上げられているということである。

伊藤委員長        ほかにないか。

宮本委員            今回、教科書で練習問題が増えているというようなことだけでも、教科書会社による特色というようなものはあるか。

木村教科書選  
定調査委員長        新しい学習指導要領では、スパイラルな教育課程を編成するというので、何回も繰り返しやっていくようなことが必要とされていて、反復による基礎・基本の定着の重視が言われている。どの教科書も、それについては工夫をされているし、解決した後に練習問題があったり、繰り返し、力をつけるような構成にはなっている。

問題数では、都の調査結果を見ると、教育出版が大変問題数が多いと言われている。

また、啓林館については、基礎的・基本的な内容を理解した後に、それらを活用して解くような問題が充実している。例えば6年生の、もっと練習というような形で、1つ終わったときに、例えば下のほうに、もっと練習してくださいと言って練習問題が示されているなど、こういう工夫もされている。

それから、学校図書については、下のほうに、ページのところに計算問題が入っていて、そのページと計算問題をつなげる練習問題が入っているような工夫をされている。

それぞれの会社がほんとうに練習問題について工夫されている

と思うけれども、同じような特徴がある。ほかの教科書も多分あると思うけれども、とりあえず特徴としてはそんなところである。

伊藤委員長           ほかにあるか。

鮎川委員長  
職務代理者           今、練習問題の数、量などについては質問とご回答をいただいたが、各教科書を拝見すると、考えさせるような問題が増えてきているように私は感じた。いかがか。これは新しい学習指導要領とも関係しているのか。

木村教科書選  
定調査委員長       算数的活動を充実させていくということは、活動させながら、どの子どもも主体的に取り組んでいって、問題を解決していくというような構成にしておこうというふうになっていると思うけれども、活動内容については、各社それぞれ工夫されているが、例えば一つの単元で見ると、6年生の分数割る分数のところを見てみると、それぞれ教科書で少しずつ扱い方が違っている。

先ほどもご説明したけれども、一つの問題の考え方については、例えば学校図書では、割り算のところで言うと、分数の割り算をする際にどんな方法を使って解決していくかという点では、こういう数直線の図を使ったもの、表を使ったもの、それからこのような、数図のようなものを使ったものを併用しながら、いろいろな考え方をここで出しながら考えさせていこうとしている。

啓林館などは、どちらかというとな数直線を使っている。

先ほど説明した教育出版も、数直線を使いながら説明している。

学校図書については、いろいろな考え方を子どもたちに見せて、その中で考えさせようというような構成になっていて、いろいろな考えをさせながら表現力を身につけさせるという意味では、小金井の子どもたちはいろいろと考えることはできてきているように思うので、いろいろな方法で考えていくような扱いをしている教科書のほうが勉強しやすいのかなというふうに、先生たちの調査結果からも出ている。一つの単元をとっても、ちょっとずつ説明の仕方が違う。

伊藤委員長           ありがとう。

ほかにご質問はないか。

それでは、これから協議に入りたいと思う。ご意見をよろしくお願ひする。

宮本委員 先ほどお聞きしたけれども、練習問題の数というようなことで、こちらの資料を見ると、練習問題のページ数というところから言うと、教育出版とか啓林館、学校図書というところが多く出ているようである。

伊藤委員長 たくさんあるということか。

宮本委員 はい。

伊藤委員長 ほかにあるか。

鮎川委員長 今、宮本先生から、練習問題の数についてのご意見があったが、私も細かく拝見したところ、領域別の分量については、量と測定では教育出版が多く、図形に関しては学校図書が多いと思う。あと、算数的活動、主に作業的体験的活動の箇所数については、日本文教出版が多い。

伊藤委員長 それぞれ特徴があるということか。

鮎川委員長 そうである。  
職務代理者

伊藤委員長 ほかにご意見はないか。

高木委員 学校図書に子どもが5人出てくるけれども、よく見ると、顔とか髪形がだんだん学年ごとに成長していく。1年と2年ではわからないけれども、1年と4年、5年ぐらいを比べると、そういうのが、先ほど先生からご説明があったけれども、子どもと一緒に成長していくって、一緒に課題探求みたいなイメージがあるのかなと思った。

伊藤委員長 子どもの興味が引かれるということか。だんだん成長していくということ。

高木委員           そうである。

伊藤委員長       ほかにあるか。

宮本委員           学校図書というのは、発達や学年の段階に応じた教育というよう  
なところの個に応じた問題として、補充的な問題とか発展的な問題  
というもののどちらも多く扱っていて、いいのではないかと思う。

伊藤委員長       補充が多いということである。  
ほかにあるか。

高木委員           先ほどご説明があったけれども、6年の下巻のほうに、別冊『中  
学校へのかけ橋』、それが算数から数学へという観点が持てて指導  
できるということで、大変いいんじゃないかなと思う。

伊藤委員長       ほかにご意見はないか。

量的にも、それから、たくさん多様な考え方、それから、『中学  
校へのかけ橋』等、ご意見が出ているが、今、学校図書がよいので  
はないかというご意見が多いように拝見したが、算数の教科書は学  
校図書でよろしいか。

(委員一同異議なしの声)

伊藤委員長       それでは、算数の教科書は学校図書に決定する。  
次は理科になるが、用意が整ったら理科のご説明をお願いします。

田尻教科書       理科について説明させていただく。

選定調査           まず、東京書籍について、学習の過程は、思い出そう、調べよう  
副委員長       話し合おう、実験、観察、結果、それから、考えよう、まとめて確  
かめよう、さらに活用しようという流れになって、特に、思い出そ  
うというところはほかと違うところで、注意事項とか、あるいは身  
近な生活の中から、実体験したことを思い出しながら課題を見つけ  
ていくというところが特徴である。あとは、写真とか挿絵、資料が  
多く使われている。非常にわかりやすく提示されている。そのこと

で児童の学習意欲を高めたり、実感を伴った理解を図るのに効果的だということで、例えば、見開きでクワガタをこのように拡大して、ぱっと持ってきている。こういったところも学習意欲が高まる、あるいは実感を伴うといったこと、ほかにも、台風と天気の変化などでも、リアリティーで、写真が載っている。

大日本図書は、実験、観察について考察する場面と、結果、結論について情報交換する場面を明確に示していて、科学的な見方とか考え方の育成を図っている。それから、単元どりの写真が2枚で構成されていて、児童が比較しながら、学習問題を見つけやすくしている。例えば5年生の1が、2枚あるけれども、これは天気の変化だけれども、晴れている様子、それから曇っている様子で、違う写真を左側と右側に載せて、ここから学習課題を見つけていくといった流れになっている。

学校図書だけれども、どの学年も、巻頭折り込みに当該学年の学習内容とか目標を示す。それから、目次の次に全学年の学習項目が示されていて、小学校の理科学習全体の見通し、あるいはつながりをつかめるようになっている。1つ特徴的なことは、5年生で振り子の学習があるのだが、ほかの教科書会社だと終わりの単元になっているけれども、最初に配列されている。これは、結果に、ぶれない、ぶれの少ない振り子を最初に学習して、その振り子で培った条件提示があるけれども、その条件提示をしっかり学習して、それから発芽の条件につなげていこうといったねらいがあるかと思われる。

教育出版だけれども、4年生では、春、夏、秋、冬と季節の小単元が扱われていて、実生活と結びついた学習ができて、自然の中で見られる変化と関連づけながら、いろいろなことを調べていく力が身につくようになっている。もう一つは、6年のてこの働きだけれども、ここもちょっと特徴があって、通常だと、身近にあるいろいろなてこの働きを学んでから、仕組みを見つけるために、つりあいのきまりを実験に持っていくけれども、逆なのである。最初につりあいのきまりの実験をして、きまりを見つけて、そのきまりを使って、身近なところのてこについて考えていこうと。全く展開の仕方が逆になっている。

啓林館は、巻末に、3年生は生き物資料、4年生は天体資料、5・6年は地域資料と、各学年、身近な自然が扱えるようになっていて、

わかりやすく工夫をされている。もう一つは、手書き風のフォントを使ったページが多い。とても親しみやすい表現になっている。特に単元の終わりのまとめはわかりやすく、児童がまとめる際に参考にしやすいと思われる。啓林館の4年生である。学習をまとめよう、こういう形の手書きフォントになっている。非常に見やすくてわかりやすい。子どもも、こういうものにできたらいいなという意欲も持てるようなまとめ方が載っていて、とても参考になる。

以上である。

伊藤委員長            ありがとう。  
                              それでは、ご質問をお願いします。

宮本委員                環境問題と科学技術というのは深いかわり合いがあるのではないかと思うけれども、小学校の理科では、環境問題というのはどんなふうに使われているのか。

田尻教科書  
選定調査  
副委員長                大日本図書を参考にして説明する。生物と環境のかかわりについて、3年では、身近な自然観察である。いろいろな植物を育てよう。昆虫を育てよう。また、植物ごとに差があるけれども、こういうふうに身近な自然の観察、あるいは育てることを通して、身の回りの生物と環境とのかかわりを学習していく。

6年生になると、最後になるけれども、生物とその環境というところ、それから、生物と地球の環境という、さらに視野が広がっていく中で、生物と環境のかかわりについて理解を図って、環境を保全する態度を養っていくということになる。

伊藤委員長            一定程度扱っているということか。  
                              ほかはないか。

鮎川委員長  
職務代理者            理科では、机の上での知識だけではなくて、観察や実験なども大変大切だと私は思っている。ただ、実験というのは危険も伴うものかと思うが、実験の安全面についての配慮は、各教科書の中の資料では扱われているか。

田尻教科書            どの教科書会社も、安全な扱いについて詳しく説明されている。

- 選定調査副委員長 赤文字の危険マークとか、安全マークとか、ぱっと見てすぐわかるような表示がされている。
- 特に東京書籍だと、例えば、理科室を使うときにはという、4年生になると理科室を数多く使うようになるので、理科室を使うときのいろいろな注意事項、火の扱い方とか片づけ方といったことも含めて、また、この裏には、ガスバーナーとかアルコールランプの使い方も大変詳しく載っている。
- また、大日本図書も、4年生の「わたしたちの理科室」ということで、同じように理科室での約束事、注意事項、安全を配慮したところが記載されている。
- 鮎川委員長  
職務代理者 わかった。どうもありがとう。
- 高木委員 理科教育の充実ということで、授業時間も延びるということになると思うが、理科の考え方とか科学的思考の育成、その辺はどんなふうに扱われているのか。
- 田尻教科書  
選定調査  
副委員長 どの教科書も工夫はされている。結果と、結果からわかることは何かを分けて考えさせる。結果からどんなことが言えるのかということ十分に考えさせるステップを踏ませるといったところは大事になってくる。それから、既に習ったことを活用して解決させるということも大事で、その辺も教科書会社は工夫されているが、例えば学校図書で言うと、結果と考察を分けて考えさせる工夫はされているし、活用では、東京書籍では、5年生、ここに、たしかめよう、活用しよう、やってみようということで、活用の欄が大体単元の終わりに載せてある。大日本図書も同じような形で載せてある。
- 伊藤委員長 ほかにないか。
- 高木委員 もう1点。調査研究資料に、ものづくりの種類数という分析があるけれども、理科で言うものづくりというのは、具体的にはどんなことか。
- 田尻教科書 科学的な体験として理科で扱うことになっていて、ものをつくる

選定調査副委員長 ことを通して、さまざまな性質とか働きについて、見方とか考え方を養うように、実感を伴った理解につながっていくと思われる。

例えばペットボトルロケットとか、電磁石づくりとか、光電池自動車、こういったものがそれぞれ各社に載っている。中でも大日本図書に、ものづくりがたくさん掲載してある。

伊藤委員長 ほかにあるか。ご質問、よろしいか。

それでは、協議に入る。ご意見をどうぞよろしく願います。

高木委員 最後にご説明いただいた、ものづくりの部分で、今お話があったように、大日本図書さんがかなり多く取り上げているので、興味を持っていいなと思う。

伊藤委員長 ものづくりで、大日本がいいということか。

高木委員 大日本図書で、他社と比べて大分多い種類のものづくりが掲載されているようである。

伊藤委員長 ほかにないか。

鮎川委員長 職務代理者 今、高木委員から、大日本図書がものづくりの種類が多くてよいというようなご意見があった。私も同じように感じた。先ほどご質問申し上げた、観察、実験などについて、大日本図書と、あと啓林館、この2社が観察や実験を大変豊富に扱っていると思った。

伊藤委員長 実験や観察についてということである。

ほかにご意見はないか。

宮本委員 私は、拝見して、どの教科書もなかなか充実しているんじゃないかなと思ったけれども、その中であえてとえば、大日本図書が、実験方法や何かが丁寧に説明されて書かれているのではないかなと。それから、ところどころに枠どりをしていて、課題を持たせるような工夫があるのはいいのではないかなと思った。また、写真なんかも大変きれいなようなので、大日本図書がよろしいんじゃないかなと思った。

伊藤委員長

ほかにご意見はないか。

どれも迫力ある写真など使ってあって、魅力的だと思うが、ご意見はいいか。

伺っていると大日本図書というお声が多いように思うが、理科の教科書は大日本図書でよろしいか。

(委員一同異議なしの声)

伊藤委員長

それでは、理科の教科書は大日本図書と決定する。

ここで、事務局からご心配いただいて、お疲れになったということで、10分ほど休憩をいかがかという提案である。

いいか。では、10分休ませていただいて、始まりを3時10分からとさせていただきます。お願いします。

休憩する。

休憩 午後2時57分

再開 午後3時08分

伊藤委員長

それでは、時間になったようなので再開させていただく。

準備が整ったようなので、生活のご説明からお願いします。

木村教科書選

生活科のほうを説明させていただく。

定調査委員長

まず、東京書籍については、季節ごとに教材が配列されていて、低学年にとってはとても扱いやすいのではないかということ、それから、活動の進め方や植物の成長などが写真や挿絵を用いて効果的に示されているということである。

大日本図書は、生き物や植物の育て方、おもちゃの作り方などが具体的に載っていないので、かえってこちらでアレンジしやすいのではないかというような意見をいただいている。それから、図鑑のように見えるページがあり、それはとても工夫されているということである。

学校図書は、チャレンジ図鑑、ものしりノートなど、詳しい説明があり、学習の見通しに役立てている。本の中に、チャレンジ図鑑、ものしりノートなどが入っている。また、季節に沿った配列ではな

くて、こちらは領域ごとにまとめられていて、系統立てた指導ができるのではないか。先ほどの東京書籍とは内容が違っている。

教育出版は、身近にある植物や生き物についての教材が大変充実しているということである。また、ワークシートの見本が手書き風の活字なので、大変美しく、活動するときの目標にできるのではないか。1・2年生にとっては手書き風の文字が大変効果的であるということである。

光村図書である。こちらあまり解説がなく、教科書を見て自分たちで考えたり、見つけたりするのに適しているのではないかということである。また、上下巻とも全単元がホップ・ステップ・ジャンプというような構成で統一感があり、学習の進みぐあいが見えやすいためとらえやすいのではないかというような報告をいただいている。

啓林館は、元気に育て、ぐんぐん伸びろなどといった単元の目標がはっきりと示されていて、構成がわかりやすいということである。また、活動の様子が挿絵でわかりやすく示されている。吹き出しが多く、文字に対する抵抗感をやわらげている。

日本文教出版である。単元ごとについているポケット図鑑の資料がとても内容が豊富で、児童の着眼点が大変はっきりしていて、気づきやすい教材になっている。それから、巻末の生活何でも図鑑は、子どもたちにとっては大変使いやすいのではないかというような報告である。

以上である。

伊藤委員長

ありがとう。

それでは、ご質問をお願いします。

高木委員

生活科は、目標の項目で特に変更はなかったようだけれども、課題はどんなところであるか。

木村教科書選  
定調査委員長

生活科については、3年生以降の理科や社会との関連、発展をどう考えるかというのが課題であったかと思う。これらの教科の内容を視野に入れて見直しを図っているようである。特に科学的な見方や考え方の基礎を養うということから、自然の不思議さやおもしろさを意識するというようなことの指導を充実させようとしているのが各社見られる。

伊藤委員長            ありがとう。  
ほかにあるか。

鮎川委員長            小金井は大変自然に恵まれていると思う。東京都の中でも、緑も  
職務代理者            多く、水も多いというすばらしい環境だと思っている。教科書の各  
社で、自然とのかかわり合いはかなり違いがあるかと思うが、自然  
に恵まれた小金井の、この地域に合っているのはどちらの教科書で  
あるか。

木村教科書選            近くに緑や川があるという小金井であるから、小金井に住む子ど  
定調査委員長            もたちにとっては、植物の種類が多かったり、虫や生き物などにつ  
いての説明が多いものがよいと考えるが、どこのところもそうであ  
るが、調査の結果からいうと、啓林館と日本文教出版が多いのでは  
ないかという結果である。

伊藤委員長            扱う種類が多いということか。

木村教科書選            そうである。  
定調査委員長

伊藤委員長            ほかにあるか。

宮本委員                生活では、身近な人々とか自然とのかかわり合いということにつ  
いて、児童に関心を持たせることが目標とされているということだ  
であるが、どのような工夫がされているのか。

木村教科書選            生活科では、身の回りのことや地域についての体験活動を充実さ  
定調査委員長            せるために、写真や挿絵を工夫していて、家族とのかかわりとか地  
域とのかかわりについて、学習の目当てや課題が明確に示されるよ  
うにして工夫されているように思う。

どの教科書にもその単元はあるけれども、特に家族とのかかわり  
を多く取り上げているのは啓林館かなと思う。地域のとのかかわり  
について多く取り上げているのは東京書籍や啓林館かなというこ  
とである。

例えば、それぞれほんとうに工夫されていると思うけれども、啓林館では、家族とのかかわりということで、みんなみんな大好きだよということで、家族とのかかわりについては多くページを割いている。こちらでも、成長していく様子とか、家の人がどんなことをしてくれたかとか、一緒にやって覚えたいねとか、これは他の教科書に比べて、多く扱っていることがわかる。下巻のほうにも同じように説明がある。

地域とのかかわりでは、東京書籍の、地域に出ていくことは生活科では多いけれども、出ていくときの参考になるということでは、例えば、町探検の計画を立てようなんていうところが大変丁寧に扱われていて、その中で、人とかかわり、どんな人が働いていて、どんなふうに見てきたらいいのかというのは、参考になるページが充実している。後ろのほうにも同じように、今度、図書館で、こんなふうに聞いてみてはどうかという図書館での行動の仕方等も、他の教科書よりはかなり詳しく載っているように思った。

以上である。

伊藤委員長           それぞれ、みんなどこも同じように扱っているけれども、特にそこが詳しくあったということか。

木村教科書選  
定調査委員長       特に多く扱って、ページを割いているということである。

伊藤委員長           ほかにご質問はないか。

宮本委員           もう一つ、生活の授業の上では、ただ遊んだり、何かの活動をするということだけではだめだと思うけれども、その辺についてはいかがであるか。

木村教科書選  
定調査委員長       生活科は、昔は理科とか社会でやっていたけれども、生活科になって、子どもたちの気づきの質を高めるように学習指導要領でも示されていて、ただ活動するだけではなくて、そこから工夫したり、考えたりすることを重視して指導している。そのために、教科書では観察カードや吹き出し、クイズなどを入れたり、自分の思いや考えを書く吹き出しがあったり、各社ほんとうに工夫している。

どこがというわけではないけれども、その中で、啓林館のこの小さい、こういう……。ほかにも、先ほどもご説明したように、中に図鑑的なものもあるが、一冊にまとまっていて、これを持っていろいろ観察をしたり、これを一つの気づきの材料にすることもできるんじゃないかなということで、この小さな『せいかつめいじんブック』というのは、気づきを向上させるのには役立つのかなというご意見が多かったようである。

宮本委員            ありがとうございます。

伊藤委員長        そのほかにご意見はあるか。  
よろしいか。  
では、ご質問は終了させていただいて、これより協議に入る。どうぞご意見をお願いします。

高木委員            今、最後のご説明にあった、啓林館の『せいかつめいじんブック』、これは子どもの気づきに役立つということだけれども、今の先生方、特に若い先生は自然の体験というのは少ないと思う。そういう意味では、先生にとっても非常に大切な、必要な情報が入っているんじゃないかなと思うし、あと、別冊で小さくなっているので、持ち運んで外へ出て行ってというのも良いかなと思う。

鮎川委員長  
職務代理者        それに関連して1つ。今、高木委員のほうから、別冊資料についてのご意見が出たが、教科書展示会でいただいた市民の方からの声にも、啓林館の別冊がよいというご意見があった。ここで紹介させていただく。

いただいたご意見の前半部分は省略させていただくが、「生活科の教科書で別冊の図鑑がついていたのは驚きました。たしか啓林館だったと思います。大きさも手ごろですし、子どもの興味・関心を引くにはナイスアイデアだと思いました」。

このような、実際にごらんになった市民の方からのご意見もあるので、こちらでご紹介させていただいた。

伊藤委員長        よいということか。

鮎川委員長  
職務代理者           そうである。こちらの方は、「たしか」という書き方をされているが、小さな別冊がナイスアイデアですばらしいというご意見だと思ふ。

伊藤委員長           反対に、なくしやすいなんていう見方もあるが、いかがか。

木村教科書選  
定調査委員長       それはあつた。先生たちの意見の中には、便利だけれども、中に入っているよりはなくしやすいかなど。ただ、名前を書いて、先生たちが集めておいて、使うときにまた配るということもできるかなと思ふ。

伊藤委員長           教科書を持ち歩かずに、それを持つということか。  
ほかにご意見はないか。

宮本委員           教科書の中身の数字的な問題だけれども、この研究で、植物や動物の数が多いうのは啓林館と日本文教出版であつたと思ふ。数が多いうことは、それだけ児童が興味を持つのには良いのではないかと思つている。

伊藤委員長           ほかにご意見はないか。

鮎川委員長  
職務代理者       先ほど別冊の資料について、啓林館について、よいと申し上げたが、啓林館の教科書自体は、中身も、記録カードの例など活動例の内容が大変豊富で、資料のページも充実していると思つた。別冊もすばらしいと思ふが、教科書の中身も、今、宮本先生もおっしゃつていたように、よいと思つている。

伊藤委員長           中身が豊かということか。

鮎川委員長  
職務代理者       はい。

伊藤委員長       委員長さん、ちょっとよいか。生活科の教科書は大変大きさにバラエティーがあるように見受けた。小型の判が2つ、横長、縦長が1つ、あと横長が3つぐらいか。1つ、大変縦も横も大きいところ

がある。その点について、調査のほうでのお話はなかったか。

木村教科書選  
定調査委員長 学校図書がとても大きいということか。

伊藤委員長 大きいことは、図も大きく、大変すばらしい迫力で迫ってくるが、1年生が最初に持つのにどうなのかなということで、先生方のご意見を伺っている。

木村教科書選  
定調査委員長 特に先生たちの、調査研究委員会の資料の中には、大判であるということは書かれていたけれども、それに対する話は特になかったと思う。

伊藤委員長 特にまずいというか、いいとか、そういう意見はなかったか。

木村教科書選  
定調査委員長 ただ、ランドセルに入れるとちょっと大きいかなとか、大分、教科書がみんな大きくなっているので、大きさのことは、そういう点では気になるかもしれないけれども、特に調査結果として出ていない。

伊藤委員長 大きいことは、その分、写真も大きいからいい。

木村教科書選  
定調査委員長 見やすい。そうである。

伊藤委員長 反面重さの問題がある。

木村教科書選  
定調査委員長 どちらかという重いんじゃないかというのも出ていたかと思う。

伊藤委員長 いいこともあり、悪いこともある。

木村教科書選  
定調査委員長 そうである。

伊藤委員長

ほかにないか。

私も、それぞれ見せていただいて、皆大変すばらしい、ほんとうに特徴あるなと思いつつ、安全にかかわるところに、ちょっと細かくしつこく見せていただいたら、動物を扱うところでは、どの教科書も、手を洗いましょう、物によっては、うがいもしましょうという注意書きがある。でも、土をいじるところで、手を洗いましょうと書かれているのは啓林館だけであった。ということは、細かいことだが、安全に対する心配りが行き届いているのかなという思いはさせていただいて、その点だけについて言えば、そんなことも思わせていただいた。

ただ、小判なので、大きいのからすると迫力的にはどうなのかなというのはある。

木村教科書選  
定調査委員長

見た感じは、大きいほうが見やすいことは見やすい。

伊藤委員長

ものすごい大きく顔が出ていたりする。

ほかにご意見はないか。

よろしいか。

それでは、啓林館というお声が多かったように思うが、生活の教科書は啓林館でよろしいか。

(委員一同異議なしの声)

伊藤委員長

それでは、生活の教科書は啓林館と決定する。

次は音楽であるが、説明をお願いします。

木村教科書選  
定調査委員長

音楽のほうを説明させていただく。

まず、東京書籍は、全体的に楽しく音を合わせたり、また、手話などを含めて、身体を使ったりするような音楽を楽しむ内容の構成があるというような意見である。また、巻末のリコーダーの運指表、手の動かし方の表があったり、このページは使いやすくだらうと。あと、音符の表現やリズム表現が大変わかりやすいというような結果が出ている。

教育出版は、学習指導要領の改訂のポイントでもある共通事項が

題材部分に取り上げられており、児童に意識させやすいということが調査結果として出ている。また、全体的にすっきり見やすいデザインで、歌唱教材の写真が、イメージを膨らませるのにも適切なものが選ばれている。楽器の写真も大きく、児童が興味を持ちやすいということである。

教育芸術社は、音楽づくりが歌唱や器楽題材に少しずつ分散して活動が織り込まれている。音楽づくりがいろいろなところに織り込まれているということである。それから、楽譜が読みやすく、文字もよく、説明的な文章が多いのではないかというのが調査結果である。

先ほどの写真のイメージというのは、例えば教育出版だと、富士山の歌なんていうときには、これだけ写真が大きく出ているのはこの教科書だけなので、これは調査委員のほうでは大変評価が高かったかなと思う。こちらにまた別の富士山もあったりして。

以上である。

伊藤委員長

ありがとう。

それでは、ご質問をお願いします。

高木委員

音楽は、新しい学習指導要領では、日本の伝統音楽について充実するようになっているが、その辺はいかがか。

木村教科書選  
定調査委員長

ほんとうにどの教科書も、日本の伝統音楽については充実していると感じる。

教育出版は、先ほども写真を紹介したが、楽器の写真が大きく掲載されていて、社会科と関連させているところで興味・関心を持たせているんじゃないかなと感じた。例えば5年生、6年生は、社会科と関連させると大変わかりやすいということで、調査結果もいただいているけれども、民謡と地図をつけて、各地の特産物みたいなものを入れながら、こういうふうには伝統音楽的なものを説明しているところとか、6年生は、逆に歴史と音楽を結びつけている。どの時代にどんな音楽がというのを。こういう取り扱いをしているのは教育出版だけであった。

ただ、ほかの教科書も、伝統音楽については丁寧に扱われていると思う。

伊藤委員長           ほかにあるか。

宮本委員            創作活動についてはどんなふうに扱われているのか。

木村教科書選  
定調査委員長       音楽づくりということで、楽譜が読めなくても、音をつくるということはとても楽しいことなので、音楽をつくる楽しさを体験させるという観点から、小学校で音楽づくりとして扱っている。生活の中にある音に耳を傾けたり、さまざまな音を探したりして音をつくっていくおもしろさを、授業の中では扱おうとしている。音楽をつくる仕組みのおもしろさにも触れるようにしていて、どの教科書も扱っているが、一番多く音楽づくりを扱っているのは教育芸術社のようである。東京都の調査でもそれが出ている。

伊藤委員長           音楽づくりは教育芸術社が多いということか。

木村教科書選  
定調査委員長       そうである。

伊藤委員長           ほかにあるか。

鮎川委員長  
職務代理者        音楽の授業というと、音楽づくりとか、表現とか、いろいろあると思うが、私個人的には、鑑賞も大変大切だと思っている。鑑賞の能力を高めるためには、どちらの教科書でどのようなご指導をというふうにお考えか。

木村教科書選  
定調査委員長       鑑賞というと、音楽を聞いて楽しむというのがあるが、新しい学習指導要領では、言語力の育成というのもあって、鑑賞の際に感じ取ったことを言葉であらわしていく、表現させていくというような活動を位置づけているけれども、鑑賞教材の数でいけば教育出版が大変多いけれども、言葉で表現させるという意味では、東京書籍が扱い方が丁寧かなと思った。

例えば6年生で言うと、ピアノソナタなどを聞かせた後に、その中に、感じ取りながら聞きましょうとか、カードに書きましょうとか、言葉に書いてみましょうというのを必ず置いていたり、それか

ら、こういう表もあって、そこに言葉を入れていくような指導も東京書籍では扱っている。

音楽の鑑賞の数としては教育出版が多いけれども、言葉についてちょっと丁寧に扱っているのが東京書籍かなと思う。

鮎川委員長  
職務代理者            わかった。ありがとう。

伊藤委員長            ほかにはいかがか。

宮本委員                音楽にかかわる言葉のほうだけれども、音符とか休符とか記号など、音楽にかかわる用語についての取り扱いというのはどのようになっているか。

木村教科書選  
定調査委員長        先ほどもちょっとお話ししたけれども、共通事項として、とても上手にどの会社も入れている。歌唱だとか、鑑賞だとか、音楽づくりのすべての活動に共通して指導するものとして扱われている。扱いとしては、教育芸術社や教育出版の扱いが充実していると思う。

例えば、わりと音符を読んだりそういうのが苦手な子もいるけれども、ここなんかも、こういうふうに全部きれいにまとめてあったり、何をこの学年で覚えたらいいかみたいなことがまとめて示されていたり、途中にも、音楽のもとみたいな形でまとめていたり、量的には、教育芸術社や教育出版が大変充実しているんじゃないかという意見が多かった。

伊藤委員長            ありがとう。

ほかにないか。よろしいか。

それでは協議に入る。どうぞご意見を願います。

鮎川委員長  
職務代理者            今もお示しいただいたが、教育出版の教科書では写真がたくさんあって、それがそれぞれ季節を感じることができるように思った。

4年生の教科書などでは、日本のお祭りを四季別に、多く写真を掲載してあり、目で見てもきれいだ。そして、社会の教科書との関連があると、先ほどお話を伺って、なるほど音楽だけではなく、さらに一層歴史とか地理的なもの理解が深まるのだなということを感じ

づいて、さらに教育出版が良いなと思った。

伊藤委員長           ほかにあるか。

高木委員           私は、東京書籍は独特の挿絵が多いように、これは先生のコメントにもあるが、そういうふうに思ったけれども、やや写真は少ないのかなと。

教育出版のほうは、写真も大変大きくて、絵も多く使われていて、イメージを膨らましやすいかと思うので、そういう意味では、教育出版社が良いかなと思う。

伊藤委員長           ほかはいかがか。

鮎川委員長  
職務代理者       先ほど教育出版について、日本の四季折々のお祭りの写真というようなことを申し上げたけれども、やはり日本というお国柄、四季がはっきりしていて、そちらに合っているなとも思っている。

また、文化とか環境が違うので一概に比較はできないと思うけれども、ヨーロッパなどでは、子どものころにたくさんの教材に触れるような教育がされていると思う。その点から見ても、教育出版は表現や鑑賞の教材数が一番多いということだったので、多くの教材に触れるということで、良いと思っている。

宮本委員           私も、教育出版の音楽づくりということで、先ほどお話をお伺いしたけれども、確かに、音のスケッチという項目があって、自然の音からあいさつづくりをするというようなところから始まって、音楽の基礎をつくって、そしてだんだん音楽づくりができるというようなつくり方になっていて、楽しみながら活動できるんじゃないかなと感じたので、よろしいのではないかなと思う。

伊藤委員長           教育出版がいいということか。

宮本委員           そうである。

伊藤委員長           ほかにご意見はあるか。

それでは、教育出版というお声が大きだと思うが、音楽の教科書

は教育出版でよろしいか。

(委員一同異議なしの声)

伊藤委員長

それでは、音楽の教科書は教育出版に決定する。  
次は図画工作になるが、ご説明をお願いします。

田尻教科書  
選定調査  
副委員長

図画工作について説明させていただく。3社ある。  
まず、東京書籍については、各題材の見開きページの右端にレインボーインデックスを設けて、主な活動についてさまざまな観点から書かれてあって、目標がよくわかるようになっている。ここである。このレインボーインデックスのところに、いろいろな活動、ねらいとかが書かれている。だから、開いてすぐ右側を見ると、その単元の内容がよくわかるということである。それから、巻末には、みんなの工具箱があって、多くの製作方法を図で示されていて、わかりやすくなっていて、基礎・基本を身につけられるようになっているということである。

開隆堂については、同じ題材を、子どもが試行錯誤しながら、表現方法とか材料を自分で選ぶ、自己選択して発展させていけるような、さまざまなつくり方の例がたくさん掲載されているのが特徴である。さらに、1年生から鑑賞のページがある。また、みんなのギャラリーとして、日本の伝統文化に触れるなど、十分な鑑賞活動とさまざまな造形活動のつながりについて工夫が見られる。3ページにわたって、みんなのギャラリーということで、地上絵をかこうとか、津軽塗、この写真等を掲げて、あるいは出雲竹人形、さまざまな伝統文化に触れることができる。

日本文教出版については、各題材のページの、つくる過程とか手順、それと巻末に、使ってみよう、材料と用具という、技法の解説とか説明、用具の使い方が丁寧に書かれていて、ほんとうにわかりやすくなっている。もう一つは、題材ごとに、工夫、気をつけよう、片づけ、振り返りの4点が示されて、学習の流れがつかみやすくなっている。特に振り返りで、自己の作品に対して振り返る場を設けているということ、次への意欲づくりにつながっていると思われる。

以上である。

- 伊藤委員長            ありがとう。  
                              それでは、どうぞ質問をお願いします。
- 宮本委員                目標のほうに、「感性を働かせながら」というような文言が入った  
                              と思うが、どういうことなのか。
- 田尻教科書  
選定調査  
副委員長                感性は、たくさん使われるけれども、なかなか難しい言葉だけ  
                              ども、物事とか事象を心に感じ取る働きであって、感じることに  
                              よって、そのつながりであるとか価値を見出す、そういう力と言  
                              えるのではないかと思う。子どもの感覚とか感じ方をさらに重  
                              視しようという方向性が、「感性を働かせながら」という文言に  
                              示されていると思う。
- 伊藤委員長            ほか、いかがか。
- 鮎川委員長  
職務代理者            図画工作でも、音楽と同様に、表現だけではなく鑑賞の能力も  
                              育てていくと思う。図画工作に関しては、鑑賞についてはどの  
                              ようにお考えか。
- 田尻教科書  
選定調査  
副委員長                例えば、きれいだなとか、いいなとか、そういうふうに鑑賞す  
                              る喜びを味わう。そこだけにとどまらずに、そういう自分の思  
                              いを言葉であらわしたり、表現したり、あるいは、お互いに自  
                              分の価値意識を持って批評し合う。いわゆる感じ取る力を一層  
                              豊かに育てる指導が必要になってくるかなと思う。  
                              その意味で、鑑賞の作品が多いのは開隆堂という調査結果が  
                              出ている。
- 伊藤委員長            よろしいか。
- 鮎川委員長  
職務代理者            はい。ありがとう。
- 伊藤委員長            ほかには。

高木委員 先ほども触れられていたけれども、図画工作は道具を使うことが多いと思うけれども、安全面とか使い方、その辺の配慮はいかがか。

田尻教科書  
選定調査  
副委員長 これは、どこの教科書会社もほんとうに丁寧に扱っている。巻頭言にまとめて、例えば3・4年で、全部紹介すると、東京書籍は、みんなの道具というところから、ここに、のこぎり、くぎの打ち方、この辺の使い方が載っている。

日本文教出版で言うと、巻末である。ここに、使ってみよう、材料と道具ということで、金づち、くぎ抜きなどの安全な使い方が写真で載せられている。

さらに、開隆堂も、巻末に道具箱という、こちらは見開きになっているけれども、金づち、くぎの打ち方とか、くぎの抜き方とか、ペンチの使い方とか、そういったことが詳しく載っていて、どの教科書会社も非常に丁寧に扱っている。

伊藤委員長 どこも優劣なく、きちっと扱っているということである。ほかにあるか。

宮本委員 この3社の教科書で、内容の取り上げ方なんかには特徴があるのか。

田尻教科書  
選定調査  
副委員長 先ほどもお話し申し上げたけれども、開隆堂は、表現の方法とか材料を自分で選んでいくために、作品例が豊富に提示されている。例えば、これは技法である。形をたくさん押すとか、絵の具で引っかいてとか、それから、粘土を型に押しつけてとか、さらに形を、これはこすり出すのですね。そういう幾つかの技法から選ぶ。

それから、3・4年で言うと、幹や枝に使える材料、竹ひごとか、丸棒とか、割りばしとか、ストローとか、こういう材料をこの中から選ぶ。さらに道具も選ぶよということ、ここにあるが、はけを使ったり、歯ブラシ、段ボールの切れ端、あるいは荒縄をほどこいたり、要らなくなったほうきをまとめるとか、こういうふうなさまざまな技法とか、材料とか、道具を自分で選択して行って、作品をつくり上げていくといった例が開隆堂に多く示されているということと、写真も多くて、大変鮮明である。ほんとうに子どもが意欲を持てる、そういう意見があった。

以上である。

伊藤委員長 調査委員の先生方のご意見が多かったということか。

田尻教科書  
選定調査  
副委員長 はい。

伊藤委員長 ほかにご質問はあるか。  
よろしいか。  
それでは、協議に入る。どうぞご意見をお願いします。

宮本委員 今お話にもあったけれども、表現の題材数の中で、絵にあらわすとか工作にあらわすというようなことでは、開隆堂が非常に多いということで、よろしいのではないかと思う。

伊藤委員長 ほかにあるか。

高木委員 今の宮本先生のお話で、絵と工作は開隆堂で、都教委の資料を見ると、造形遊びについては東京書籍と日本文教出版ということで、ちょっと特徴が出ているのかなと思う。

伊藤委員長 ほかにいかがか。

宮本委員 表現の技法とか材料の取り扱いというようなことについては、日本文教出版もなかなかいいのではないかと思うけれども、また、図工の本質は絵をかくことかなと思うけれども、それが大事だと考えれば、開隆堂が絵も大きく、写真が出ているので、いいのではないかなと思う。

伊藤委員長 ほかにご意見はいかがか。

鮎川委員長  
職務代理者 あまり鑑賞、鑑賞と言うのもいかなものかと思って、ちょっと控えようかと思ったが、開隆堂は、やはり鑑賞用の作品のページが大変充実していると思った。特に、開隆堂の教科書を見て感じたの

は、児童の作品例が大変多いと思った。児童の作品例が多いということは、使う子どもたちにとって大変親しみやすく、また、自分がつくるときの参考にもなり、つくるときのイメージも膨らみやすいと思うので、開隆堂が良いと思っている。

伊藤委員長 よろしいか。

先ほど、造形遊びで、東書と文教がいいというお話があって、確かにいいなとも思ったが、私、ちょっと気になったことがあって、文教出版の1・2年生の上をちょっと見せていただいていたか。

何かあら探してみたいであれだが、子どもたちの鉛筆の持ち方とかおはしの持ち方は、図工ではないが、そういったものが大変問題になっているときに、文教出版のかなり大きな写真で、サインペンを持っている手が大変ユニークというか、小さく出ている、合わせて持つ、親指はこういうふうにして持つというのが今の子どもの特徴だと思うけれども、これは教科書にはと思う。

高木委員 それは数が多いという、数の話をさせてもらって。

伊藤委員長 数がであるか。私はちょっと、子どもが見るときに、すごい細かいことで嫌らしいなと思いつつ、でも、これは気になるなと思った。ほかにないか。ご意見、よろしいか。

それでは、図画工作の教科書は開隆堂がよいというご意見が多いように私は拝見させていただいたが、いかがか。図画工作の教科書は開隆堂でよろしいか。

(委員一同異議なしの声)

伊藤委員長 では、開隆堂に決定する。

次は家庭科であるが、願います。

木村教科書選 家庭科は2社である。

定調査委員長 まず、東京書籍は、家庭科の基礎技能が必要なときに確かめられるように、目次に該当ページをまとめて表示してある。目次を見ると、この下のところに、困ったときにどこを探せばいいかというのが明確になっているのが特徴である。あと、巻頭に食育チェック、

環境チェックというチェック項目があって、食育や環境に視点を合わせて学習展開できるように構成されているという意見であった。

開隆堂は、基礎・基本が確実に身につけられるように、2年間の学習が積み上げられる教材を配列してある。また、学習の最後に振り返る場が設定されていて、発展、実践活動の参考にできる実践例が取り上げられている。例えば、振り返ろうというふうな形で評価ができて、このページに、発展的なもの、実践できるものがかかり詳しく載っている。これは東京書籍とちょっと違う。東京書籍もあるが、量的にはこちらが多いかなということである。

以上である。

伊藤委員長            それでは、どうぞご質問をお願いします。

鮎川委員長  
職務代理者            新しい学習指導要領では、自己の成長というものを、学習全体を貫く視点として位置づけられていると思う。その中でも、食育の推進とか消費生活と環境という重点も示されたかと思う。

そこで、まずお伺いしたいのは、食育については、そちら2社あるが、いかがか。

木村教科書選  
定調査委員長            先ほどもちょっとお話ししたけれども、両方とも、食育については大変意識を高めるような工夫があるように思う。

開隆堂のほうは、食育に関係のあるところはページにお茶わんのマークをつけて、ここは食育に関係がありますよということで、望ましい食生活について視点を育てるような工夫があるということだ。

東京書籍のほうは、最初に、食育チェックというようなことで載っている。

両方とも工夫されている。

鮎川委員長  
職務代理者            ありがとう。

伊藤委員長            ほかはいかがか。

高木委員                今までの教科書でも扱っているけれども、消費者教育という視点

では、今回の教科書はいかがか。

木村教科書選  
定調査委員長 これも、どちらも同じように工夫されていると思うけれども、身近な生活における消費を意識しながら、物の選び方だとか買い方などへの関心を高めるような教材、または単元構成はあると思う。これはどちらも同じような状況だと思う。

伊藤委員長 ほかにあるか。

宮本委員 環境に配慮したライフスタイルというようなことは扱われているか。

木村教科書選  
定調査委員長 環境については、家庭科と環境とのかかわりについてを意識しながら、環境に配慮したものの活用などが、中で扱われている。または、自分の成長とかかかわって振り返るようなチェックをしている。特に開隆堂では、エコライフというページがあった。環境を考えてエコライフを工夫しようということで、自分の生活を振り返って、このようなことをしたらいいんじゃないかというのは、かなり具体的なページが載せられていた。

以上である。

宮本委員 続けて、安全に関する配慮というようなことはいかがか。

木村教科書選  
定調査委員長 これはどちらも、出し方は違うけれども、丁寧に扱われている。ガスコンロの安全な使い方だとか包丁の扱い方、針の安全な使い方など、どちらも丁寧に扱っている。

伊藤委員長 ほかにあるか。  
それでは、これから協議に入りたいと思う。ご意見を願います。

鮎川委員長  
職務代理者 新しい学習指導要領では、家庭科の目標に、家庭生活を大切にするとところが新しくつけ加えられていると思う。

開隆堂の教科書は、学んだことを、家庭実践につながるようなチャレンジコーナーが設けられているということなので、家庭科の授業が家庭に結びつき、やがてそれが家庭生活を大切にするとところに

もつながっていくと思う。また、その開隆堂の教科書は、活動例も大変具体的で、説明も大変丁寧であると思ったので、よいと思う。

伊藤委員長 家族への扱いが丁寧だということか。

鮎川委員長  
職務代理者 活動の例が、すごく丁寧でわかりやすいなと思った。

伊藤委員長 活動例が豊かであるということか。  
ほかにあるか。

宮本委員 今ご意見があったけれども、もう一方の東京書籍のほうは、巻頭のところに、食育チェックと環境チェックというのをまず書かれていて、そこから入っていくというような形をとっているの、その辺はいいところじゃないかなと思っている。

伊藤委員長 新しい課題をきちっと把握しているということか。

宮本委員 はい。

伊藤委員長 ほかにあるか。

高木委員 2社だけれども、東京書籍のほうは、5年生と6年生、それぞれの学年の終わりに、これまでの学習を振り返ろうということで、先ほどあった、自己の成長を自覚するような視点に配慮があるのかなと思う。

開隆堂のほうは、単元の配列が、調理とか、裁縫とか、そういった子どもの興味があるところから始まっているということで、流れとしてはいいのかなと思う。

伊藤委員長 単元の配列がいいということか。

高木委員 はい。

伊藤委員長 ほかにあるか。

私は、2社を比べて、ほんとうに必要な視点はすべて入って、それぞれに工夫されているが、指導内容にかかわって、開隆堂が良いと思っている。それは、幾つかの視点で、これはまずいのではないかなと思うところがある。

例えば、大変細かくて申しわけないが、卵の鮮度を比べるというようなところで、卵を、新しいかな、古いかなと見るときには、外から見ただけじゃわからなくて、卵を割ってみるという指導が入っているが、東書のほうは、ゆで卵の調理のときに卵の鮮度を見ている。ということは、ゆで卵をするときには卵を割らないので、改めて卵を割ってみなくてはいけない。ところが開隆堂は、スクランブルエッグのときに鮮度を見ましょうという指導がある。同じ鮮度を見るというところでは、どちらも扱っていてあれだが、どこで見るかということでは、開隆は適切であると思った。

また、被服のところでは、最初に扱う被服、縫う、並縫いをする教材を、東書は、箱をつくるというような立体で扱っている。普通に縫っても難しいのに、立体になるように縫うというのは、教材としてどうか。そういう意味で、東書は問題がある。

そのほかにも、ミシンの縫うところでも、それからボタンつけなどでも、開隆堂は1本の糸で縫う1本どり。東書は2本どり。専門家だったら2本どり。私だったら2本どりでつけるが、小学生の最初にとって、多分、糸が抜けないように2本どりの指導をしたんだと思うが、2本どりで縫ったほうが、子どもがやったときに、糸がずれて裏に絡みが出る場合が多くて、また、2本で縫ったときには針の通りが悪い。1本の糸で、糸が抜けないように縫うのが小学校の最初の指導だと思うので、その他もろもろ、開隆堂のほうが適切な指導をしているかなと、細かい点だが、受け取らせていただいた。

たまたま学生たちに、指導要領に沿った指導はどうしたらいいのかなと教科書を細かく眺めていたときに、けちをつけるようで大変申しわけないんだけど、でも、専科の先生が少なくなってきた現状を踏まえると、より、子どもの指導上、子どもの学習上、突っかかりというか、不備がないほうが指導しやすいのかなと見させていただいた。

家庭科の教科書は開隆堂でよろしいか。

(委員一同異議なしの声)

伊藤委員長

いいか。それでは、家庭科の教科書は開隆堂と決定する。  
次に、保健の説明をお願いします。

田尻教科書  
選定調査  
副委員長

保健について説明をさせていただく。5社ある。

まず、東京書籍については、教科書に書き込む欄が効果的に設定されていて、活用できる内容が多くなっている。特に活用の欄は、学習したことをもとに考える内容になっていて、言語能力を高める活動としても効果的になっている。

それから、喫煙、飲酒、薬物乱用の3つの害に関して、多くの写真を掲載している。体に与える影響の大きさを児童が実感できるようになっている。ここから38ページに、喫煙の害と健康、写真がたくさん掲載されている。それから飲酒の写真、ここにも肝臓の写真が載っていたり、あと薬物乱用ということで、脳についての写真、他社も写真とかが載せてあるけれども、一番多いのが東京書籍であった。

大日本図書は、1時間の学習内容が見開きの2ページにまとめられていて、児童が課題発見、活動、思考、まとめ、生かすという流れで学習が進められるようになっている。もう一つ特徴的なのは、各単元の導入にクイズ形式の書き込みを提示してある。例えば、迷路に挑戦とかクロスワードパズルなどを使っている。そのことで児童が興味・関心を高めて、楽しみながら学習ができるような工夫がされている。

日本文教出版は、3年生に、毎日の生活と健康という単元があるが、脱脂綿、それから寒天、薬品などの実験の種類が多く示されていて、特に脱脂綿を使った実験は、授業でも扱いやすくなっている。もう一つは、学習内容に広がりを持たせる発展のコーナーとか、自主的な調べ学習のため、ホームページのアドレス等の情報コーナーも取り入れている。終わりのほうに、エイズに関する情報、次は望ましい食生活に関する情報、次は歯の健康に関する情報、このように、さらに学習を深め、広げていくために、インターネットアドレス等の情報コーナーも設置しているということである。

光文書院は、自分の健康に目を向けさせる工夫として、書き込み欄とかチェック表を使って、自分の生活を振り返って、自分で考えさせるようにしているところがある。それからイラスト、図、グラ

フ、写真などの掲載が多く、わかりやすく効果的で、視覚による理解を図っているところが特徴である。

最後に学研であるが、文章の量は適切である。何々が大切だと、確実に習得させたい基礎・基本の内容について丁寧に記述がしてあって、わかりやすくなっている。もう一つは、イラストが多く使われているが、ほかの教科書会社と比べて写実的である。表情がすごくわかりやすくて、子どもにとっては効果的になっている。

以上である。

伊藤委員長

ありがとう。

では、ご質問をお願いします。

高木委員

保健については、新しい指導要領のポイントというのはいかがか。

田尻教科書  
選定調査  
副委員長

本校でもそうであるが、不審者の出没が多い。児童の犯罪被害防止が変更点の一つになっている。けがの防止とか、危ない場所とか場面での危険を予測する。あるいは、不審者への対応、インターネットの正しい使い方、さらには、地域安全マップづくりも扱われるようになっている。

鮎川委員長  
職務代理者

今のことに関連して。今、伺った点について、各教科書についての特徴というのはあるか。

田尻教科書  
選定調査  
副委員長

犯罪被害防止について言うと、東京書籍は、2つの違う公園の絵をこういうふうに並べてあって、どちらが危険性が高いかというところを、周りの様子、あるいは遊んでいる様子から、子どもたちに考えさせて記入させるという内容になっている。

あとは、4ページ使っているけれども、ここに、「イカのおすし」がきちっと載っていることと、実際にでき上がった安全マップの見本がここに掲載してあるということで、これも非常に子どもにとっては参考になる資料ということが言えると思う。

鮎川委員長  
職務代理者

ありがとう。

伊藤委員長           ほかに。

宮本委員               保健の中では、体の発育というのを扱っていると思うけれども、その留意点みたいなものは何か。

田尻教科書  
選定調査  
副委員長               体の変化の仕方とかあらわれ方については、個人差があっても当然なので、他人と違って心配することはないという安心感を与えることが一番大切ではないかなと思うが、この5社とも、どの教科書ともそういう記述がきちっと入っている。

伊藤委員長           ほかに、発育についてはいいか。

宮本委員               はい。

伊藤委員長           ほかにご質問はあるか。  
それでは協議に入る。どうぞご意見を願います。

鮎川委員長  
職務代理者           先ほどご説明していただいた中にも、光文書院は書き込み欄などがあるというようなご説明もあったが、学研は、課題を自分の問題として実感させるような事例が多く取り入れられていて、書き込み欄というのか、作文もたくさん取り入れられていると思う。

例えば、これから気をつけたいこととか、自分のよいところをたくさん書き出してみましようとか、子どもたちが自分で考えて書き込める教科書になっていると思う。

伊藤委員長           書くことを重視しているということか。

鮎川委員長  
職務代理者           そうである。考えて書くというところである。

伊藤委員長           ほかにあるか。

高木委員               調査研究資料にも出ているけれども、光文書院のイラストが、図、写真等が非常に豊富に載っているなという感じはする。

- 伊藤委員長 写真が多いということか。
- 高木委員 イラストが多いと思う。
- 伊藤委員長 イラストが多い。ということは、わかりやすいということか。
- 高木委員 そうである。
- 伊藤委員長 ほかにあるか。
- 宮本委員 東京書籍だけれども、話し合い活動がしやすい教材で、学習の目当てがはっきりしているのではないかと思う。それから、単元の構成もわかりやすくできているのではないかと思う。
- 伊藤委員長 話し合い活動では東書がいいということか。
- 宮本委員 はい。
- 伊藤委員長 ほかにあるか。
- 高木委員 先ほど特徴の部分でお話があったけれども、東京書籍は、健康とか安全に関する内容は大変充実しているのではないかなと思う。
- 伊藤委員長 前からも、わりと健康、安全に関しては出ていたけれども、より範囲が広がったということか。  
ほかにあるか。
- 鮎川委員長 先ほどは学研についての長所を意見として述べたが、宮本先生が、  
職務代理者 保健はこの教科書がよいと言うと、とても説得力がある。内容も、  
確かにおっしゃるとおり、東京書籍が大変充実していると思う。  
あと、教科書は厚ければよいというものではないかと思うが、2冊合わせて78ページという東京書籍が一番ページ数が多いと思うので、私も東京書籍がよいと思う。
- 伊藤委員長 ほかにご意見はあるか。

書き込みの部分についてはどうだったか。

鮎川委員長  
職務代理者  
教科書への書き込みか。光文書院には書き込み欄とかがあったし、先ほど申し上げたが、学研にも、何ページかに1カ所とか2カ所、このぐらい小さな、5センチ四方ぐらいだけでも、書き込み欄があって、気をつけたいことを書きましようとか、そのようなところがあつたと思う。

伊藤委員長  
ほかはいいか。東書ではどうか。

田尻教科書  
選定調査  
副委員長  
東書も、先ほどお話ししたように、活用の欄が必ず単元の中に明示されている。

伊藤委員長  
書くということがあるのか。

高木委員  
つくりがしっかりしていて、2年間使うのに良いということがあつた。

伊藤委員長  
ご意見があつた。

高木委員  
はい。

伊藤委員長  
ほかにご意見はあるか。  
東書が多いようにお見受けしたけれども、保健の教科書は東京書籍でよろしいか。

(委員一同異議なしの声)

伊藤委員長  
それでは、保健の教科書は東京書籍に決定した。  
平成23年度小金井市立小学校使用教科用図書の採択については、国語、光村図書、書写、光村図書、社会、教育出版、地図、帝国書院、算数、学校図書、理科、大日本図書、生活、啓林館、音楽、教育出版、図画工作、開隆堂、家庭、開隆堂、保健、東京書籍と決定する。

ここで、決定したところで、校長先生も事務局もおいでになるので、お願いしたいことがある。

算数が学図に決まったので、市民のお声の中に、新しい教科書には色覚に対する気遣いがあるよいのだが、実際に見たところ、時計の針が赤と緑の算数の教科書があった。調べてみたら学図だった。

学図は内容がすばらしく、小金井の子どもたちに合っているということで採択させていただいたが、指導に当たって、ぜひこういうご意見があったということを生かしていただき、ご指導の場でご配慮いただけたらありがたく思う。どうぞよろしくお願い申し上げます。

木村教科書選  
定調査委員長 わかった。

伊藤委員長 以上で、平成23年度小学校使用教科用図書の選定を終了する。  
ありがとう。

木村教科書選  
定調査委員長 どうもありがとう。

田尻教科書  
選定調査  
副委員長 ありがとう。

伊藤委員長 お世話さまであった。お疲れさまであった。長い間すまなかった。

(木村教科書選定調査委員長、田尻教科書選定調査副委員長 退室)

伊藤委員長 次に移る。

日程第4、議案第18号、平成23年度小金井市立小・中学校特別支援学級使用教科用図書の採択についてを議題とする。

提案理由を説明願う。

向井教育長 それでは、提案理由についてご説明する。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条第6号の規定に基づき、平成23年度小金井市立小・中学校特別支援学級使用

教科用図書の採択をする必要があるため、本案を提出するものである。

細部については指導室長より説明する。よろしくご審議の上、採択賜るようお願い申し上げます。

豊岡指導室長 平成23年度小金井市立小・中学校特別支援学級使用教科用図書の採択については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条第6号に基づき、小金井市教育委員会が毎年採択を行っているところである。

また、特別支援学級においては、学校教育法附則第9条により、文部科学省検定済み教科用図書または文部科学省著作教科用図書を使用することが適当でないときは、当該学校の設置者の定めるところにより、他の適切な教科用図書を使用することができるとしている。

本市一小、二小、二中の各学級において、児童・生徒の障害の種類、程度、能力、特性にふさわしい内容であるかを調査研究し、このたび案として提出をさせていただいた。資料のところ、3校3学級のものをつけてある。お目通しをいただければと思う。よろしく願います。

伊藤委員長 説明が終わったが、ご質問はあるか。

鮎川委員長  
職務代理者 先ほどの小学校の教科用図書の採択とは違って、今回、こちらの特別支援学級のほうでは、原案として提案された教科用図書について、私たちは協議を行えばよいということか。

豊岡指導室長 ご指摘のとおりである。よろしく願います。

伊藤委員長 ほかに質問はあるか。

高木委員 現在使っている教科書と変更がある部分があったら、教えていただきたい。

神田指導  
室長補佐 第一小学校では、社会、理科の教科書のかわりに、知的障害特別支援学校小学部の教科である、生活をとることができるため、3年

生から6年生で、生活に示したように教科書を変更した。そのため、社会と理科の教科書はない。

また、家庭科と保健では、他の教材を使用して指導してまいったが、教科書を使用するように変更をした。

第二小学校では、家庭科の5年の教科書を、通常の学級で使用する教科書に変更した。第二中学校では、現在使用している教科書と変更した教科書はない。

以上である。

伊藤委員長

ちょっと質問していいか。今のお答えの中に、第一小学校では、家庭科と保健は教科書を他のものを使用していたが、教科書を使用してきたとのことである。家庭科のこれを見ると、金の星社と女子栄養大学のものになって、教科書ではないような気がするが。

神田指導  
室長補佐

ここに載っている資料のものを使用するということで、採択させていただきたいということである。

以上である。

伊藤委員長

わかった。変更があったということである。  
ほかにあるか。

宮本委員

今ご説明があったけれども、第一小学校、第二小学校ともに変更した理由は何か。

神田指導  
室長補佐

特別支援学級では、児童・生徒の実態に応じて教科書を使用するということになっている。第一小学校、第二小学校の児童の障害など、児童の状況に応じて調査研究をしてまいった。その結果をもとにした変更である。

以上である。

伊藤委員長

わかった。  
ほかにあるか。

宮本委員

もう一つ。同じ小学校でも、第一小学校と第二小学校の教科書が違うようだけれども、これも、障害など児童の実態に応じて変わっ

ているというふうに理解してよろしいか。

神田指導  
室長補佐           ご指摘のとおりである。同じ学年であっても、障害など児童の状況に応じて、教科書を採択してまいる。

伊藤委員長           質問はいいか。  
                          当該学年の、ここに書いてある、例えば二小の社会だったら、3年生は、福音館の『科学シリーズ ぼくらの地図旅行』が教科書として配られるということか。

神田指導  
室長補佐           そのとおりである。

伊藤委員長           そうすると、ほかの子どもたちが持つ3年生の教科用図書は配付されないということなのか。

神田指導  
室長補佐           おっしゃるとおりである。これが教科書として配付されるので、通常の学級での教科書は配付されないことになる。

伊藤委員長           わかった。  
                          私の意見というか、感想だが、これらの本が選ばれたことは、子どもたちの実態を十分に把握し、指導の内容を検討して、担当の方たちが選んでくださったので、大変良いものが選ばれていると思っている。

                          ただし、子どもたちが学年を1学年ずつ上がっていったときに、何年生と書かれた教科書を持つということにも喜びを感じるのはないかと、今まで特別支援の子どもたちを何人か見てきたときに思う。

                          そういう意味で、例えば二小で言えば、社会や理科は学年のない教科書を持つわけなので、できたら、教室の中にでもそういうものが置かれていると、1つ1つ学年を進行したという自覚が持てていいのではないかなと私はいつも思っている。教科書が、3年生の『ぼくらの地図旅行』が配られたら、3年の社会というのは配られないんだということは、ちょっと寂しいかなと私は個人的には思っている。何からの形で、子どもたちに、学年が上がったんだ、進学・進

級したんだという思いを持たせることができたらうれしいなと思っている。

お金のかかることなので、なかなかそうはいかないかと思うが、そんな配慮もあっていいなと思っている。参考意見として聞いていただきたい。

それではお諮りする。

議案第18号、平成23年度小金井市立小・中学校特別支援学級使用教科用図書の採択については、原案のとおり決定することに異議はないか。

(委員一同異議なしの声)

伊藤委員長 異議なしと認める。よって、平成23年度小金井市立小・中学校特別支援学級使用教科用図書の採択については、原案のとおり決定する。

次に、日程第5、報告事項を議題とする。順次、担当から説明をお願いします。

報告事項1、今後の日程について、お願いします。

高橋庶務 教育委員会の今後の日程についてご報告する。

課長補佐 第9回教育委員会を、8月24日火曜日、午後1時30分から、801会議室にて開会予定である。全委員のご出席をお願いします。

東京都市町村教育委員会連合会第2回理事会及び第1回理事研修会が、8月26日木曜日、理事会、午後2時から、理事研修会、午後3時から、東京自治会館大会議室にて開催される。委員長の出席をお願いします。

第10回教育委員会を、10月12日火曜日、午後1時30分から、801会議室にて開会予定である。全委員のご出席をお願いします。

東京都市町村教育委員会連合会第4ブロック研修会が、10月26日火曜日、午後3時から、立川市役所302会議室にて開催される。全委員のご出席をお願いします。

第11回教育委員会を、11月9日火曜日、午後1時30分から、801会議室にて開会予定である。全委員のご出席をお願いします。

第12回教育委員会を、11月24日火曜日、午後1時30分か

ら、801会議室にて開会予定である。全委員のご出席をお願いする。

以上である。

伊藤委員長

ありがとう。

それでは、報告事項2、その他で、学校教育部から、あるか。

鈴木庶務課長

明日の小金井教育プランのパブリックコメントの状況についてご報告する。

7月1日から8月2日までの期間でパブリックコメントを実施した。計画は、庶務課、広報秘書課広聴係、市立小・中学校、公民館各館、婦人会館、福社会館、総合体育館、図書館本館、保健センターで配布し、また、市のホームページでも公開し、意見を募集した。各施設に144部配置して、配布された部数は99部となっている。その結果、ファクス等で6件の意見をいただいている。

8月24日に開催予定の教育委員会定例会に提出し、寄せられた意見に対するご意見を協議いただきたいと思う。その後、10月の教育委員会定例会に成案を提出させていただくので、ご協議いただいて、11月の教育委員会定例会でご議決をお願いしたいと思う。

庶務課からは以上である。

伊藤委員長

パブリックコメントについて、24日にご報告いただき、11月に決定ということであるか。わかった。

ほかにあるか。

豊岡指導室長

この夏の中学校の部活動の大会の報告を、担当のほうからさせていただきます。

高橋指導主事

私から、中学校で全国大会に出場する部活動を紹介する。

陸上部では、第一中学校、大澤裕輝君が、100メートル、200メートルで東京都1位となり、平成22年度全国中学校体育大会、第37回全日本中学校陸上競技選手権大会に出場することになった。

剣道部では、第一中学校女子剣道部団体で都大会を優勝し、平成22年度全国中学校体育大会、第40回全国中学校剣道大会に出場

することが決まった。

なお、会場である。陸上部の大会は鳥取県鳥取市になる。剣道部の大会の会場は島根県出雲市になっている。

全国大会の結果、詳細については後日改めて報告させていただく。以上である。

伊藤委員長            ありがとう。うれしいことである。  
ほかに、教育部からはよろしいか。  
それでは、生涯学習部から、あるか。

大関公民館長        前回の教育委員会において、第21期の公民館企画実行委員の選任に関し、ご同意をいただいたところだけでも、委員から、各年齢層についてのご質問があったので、今回、企画実行委員の概要について、資料を配付させていただいた。よろしく願います。  
なお、今後、各年齢層から選出することはなかなか難しいと考えているので、要綱の改正をする予定である。  
以上である。

伊藤委員長            ありがとう。  
ほかにあるか。

田中図書館長        移動図書館車のステーションの変更についてのご報告をする。  
現在、移動図書館車は、市内7カ所のステーションを毎週1回、運行している。お手元に水色の資料があるが、この後ろの地図のA地点の公務員住宅の場所になる。そのうちの一つで、毎週水曜日に午後3時から4時に運行している、貫井北町3丁目公務員住宅のステーションについては、市報7月15日号にて、公務員住宅の建てかえに伴い使用ができなくなり、代替ステーションについては手配中とのお知らせをした。  
その後、代替ステーションについては、旧ステーションの東側にある第五分団の北側敷地の一部を確保することができたので、8月4日からステーションの変更を行った。特に支障もなくスムーズな運行を行っている。  
以上である。

伊藤委員長

ありがとう。

ほかにあるか。

よろしいか。

それでは次に、人事に関する議案がある。委員長は、本案は小金井市教育委員会会議規則第10条第1項に規定する事件に該当するため、非公開の会議が適当と判断するが、委員の皆様、いかがか。

(委員一同異議なしの声)

伊藤委員長

全員異議なしと認め、秘密会を開催する。

準備のため休憩する。恐れ入るが、傍聴人におかれては、席を外していただくことになるので、よろしく願います。

休憩 午後4時37分

再開 午後4時42分

伊藤委員長

定例会を再開する。日程第7、代処第23号職員の人事異動に関する代理処理についてを議題とする。提案理由を説明願う。

向井教育長

提案理由についてご説明する。

平成22年8月1日付けで職員の人事異動を行う必要が生じたが、教育委員会において議決すべき事項で、教育委員会を開催する暇がないため、小金井市教育委員会教育長に対する事務委任規則第4条の規定に基づく代理処理をしたことについて、同条第2項の規定よりその承認を求めるものである。

細部については、庶務課長より説明する。よろしくご審議の上、ご承認賜るよう願います。

鈴木庶務課長

それでは、代処第23号職員の人事異動に関する代理処理についてご説明する。本件については、迅速な事務手続きを要することから、教育委員会を開催する暇がないため、小金井市教育委員会教育長に対する事務委任規則第4条の規定に基づく代理処理を行ったものである。

内容としては、生涯学習部生涯学習課スポーツ振興係主事佐藤大

輝を平成22年7月31日付けで解任し、市長部局へ出向させることとした。後任として、福祉保健部障害福祉課副主査、澤島武士を平成22年8月1日付けで生涯学習部生涯学習課副主査に任命した。

次に、生涯学習部図書館奉仕係主事、藤木里美を平成22年7月31日付けで解任し、市長部局へ出向させることとした。後任として、子ども家庭部子育て支援課副主査、佐藤恵子を平成22年8月1日付けで生涯学習部図書館副主査に任命し、また、福祉保健部障害福祉課相談支援係主事、土屋健を生涯学習部図書館主事に任命した。以上で平成22年8月1日付け人事異動の説明について終了する。よろしくご審議の上、ご承認賜わるようお願いする。

伊藤委員長 説明は終わった。何か質問、ご意見はあるか。  
それではお諮りする。代処第23号、職員の人事異動に関する代理処理について、承認することに異議はないか。

(委員一同異議なしの声)

伊藤委員長 異議なしと認め、本案は承認することと決定した。  
以上で、本日の審議はすべて終了した。これをもって平成22年第8回教育委員会定例会を閉会とする。長い間ありがとう。

閉会 午後4時45分